

船橋市教育委員会会議 8月臨時会会議録

1. 日 時 令和5年8月4日(金)  
開 会 午後 2時00分  
閉 会 午後 4時55分
2. 場 所 市役所11階 大会議室
3. 出席委員 教 育 長 松 本 淳  
教育長職務代理者 鳥 海 正 明  
委 員 小 島 千 鶴  
委 員 朝 倉 暁 生  
委 員 蓮 池 政 貴
4. 出席職員 教育次長 村 田 真 二  
管理部長 牟 田 重 実  
学校教育部長 日 高 祐一郎  
教育総務課長 田 島 正 則  
指導課長 茂 木 義 久  
指導課課長補佐 森 貴 俊  
指導課 寺 田 維 乃  
指導課 尾 花 桃 代  
指導課 井 川 富美子  
指導課 日野原 岳 二  
指導課 伊 井 大 起  
指導課 小 倉 めぐみ  
指導課 保 坂 正太郎  
指導課 鳴 海 剛 史  
指導課 強 田 裕 一  
指導課 土 岐 康 峰  
保健体育課 蕪 木 誠  
総合教育センター所長 太 田 由 紀  
教育支援室長 神 田 順 子  
市立船橋高校教頭 矢 口 博 之  
市立船橋高校 祐 貴 之

## 5. 議 題

### 第1 議決事項

議案第31号 令和6年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について

議案第32号 令和6年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について

## 6. 議事の内容

### 【教育長】

それでは、ただいまから教育委員会会議臨時会を開会します。

本日の会議の開催に当たりまして、会議を傍聴したい旨、45名の申込みがございましたので、全員傍聴を認めることといたします。

傍聴人者の方にお願いがございます。

お渡しいたしました傍聴券の裏面に記載されております傍聴人の遵守事項についてお守りいただき傍聴されますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議案第31号について指導課、説明願います。

指導課長。

### 【指導課長】

それでは、議案第31号「令和6年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について」ご説明いたします。

令和6年度に船橋市立小・中学校並びに特別支援学校小学部、中学部並びに小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書を採択するに当たり、船橋市教育委員会組織規則第3条第15号の規定に基づき、教育委員会会議において議決を得る必要があるため、本議案を提出いたします。

令和5年6月1日付、千葉県教育委員会教育長発通知、義務教育諸学校における令和6年度使用教科用図書の採択についてにより、以下の指導及び助言がございました。

令和5年度において、1. 小学校用教科用図書については、学校教育法の一部を改正する法律による改正後の学校教育法（以下、改正学校教育法という）附則第9条第1項の規定による教科用図書（以下、附則9条図書という）を使用する場合を除き、令和6年度使用小学校用教科書目録に登載されている教科書のうちから採択しなければならないこと（義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（以下、無償措置法という）第13条）。

2. 中学校用教科用図書については、附則9条図書を使用する場合を除き、基本的に

令和4年度と同一の教科用図書を採択しなければならないこと（無償措置法第14条）。

3. 特別支援学校の小学部については、附則9条図書を除き、特別支援学校用教科書目録（令和6年度使用）に登載されている教科書のうちから採択しなければならないこと（無償措置法第13条）。

4. 特別支援学校の中学部については、附則9条図書を除き、基本的に令和4年度と同一の教科用図書を採択しなければならないこと（無償措置法第14条）。

5. 附則9条図書の採択については、千葉県教育委員会の作成した選定資料を生かし、児童・生徒用の教科の主たる教材として教育目標を達成する上で適切な図書を採択することとなっております。

次に、教科用図書採択の公正確保についてでございます。

(1) 教科用図書選定に関わる委員、または調査員等の選任に当たっては、特定の教科書発行者と関係を有する者が関与することのないように留意すること。

(2) 教科書発行者に限らず、外部からの働きかけに左右されることなく静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ適正な採択を行うこと。

教科書採択に係る教育委員会の会議を行うに当たっては、静ひつな審議環境の確保等の観点から検討を行い、会議の公開、非公開を適切に判断するとともに、傍聴に関するルールを明確に定めておくこと。外部からの不当な働きかけにより、公正確保に関し問題が生じていると考えられる場合には、適切な措置を講ずるとともに、速やかに千葉県教育委員会に報告すること。

(3) 十分な審議や調査研究を経ず、これまでの慣例のみによって決定されたり、事実上、一部の特定の教員のみによって決定されたりするなど、採択権者の責任が不明確になることがないように、採択の手續の適正化に努めること。

そのほか、教科書の採択に関する情報の積極的な公表に努めること。教育委員会の教育長及び委員が十分な時間的余裕を持って教科書見本を閲覧し、吟味する環境を整えること。

主な指導及び助言の内容は以上でございます。

これらを踏まえ、本年度、教育委員の皆様へ採択についてのご審議をお願いするのは、令和6年度使用の小学校、特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書についてとなります。

なお、中学校用の教科書につきましては、無償措置法第14条により、採択したものを原則4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択することとなっております。これまでのところ、本市においては、令和2年に採択した中学校教科用図書につきましては問題なく使用されていることから、昨年度採択し、今年度も使用している教科用図書を採択していただくこととなりますので、はじめにそちらの採択をお願いいたします。

【教育長】

ただいま説明がありました件について、県の指導もありますので、中学校教科用図書については、資料の別表2に掲載の教科用図書を継続採択することについてご異議ございませんか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度使用中学校教科用図書は、全種目において令和5年度と同一の教科用図書を採択することといたします。

続きまして、小学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の選定結果について、指導課、説明願います。

指導課長。

**【指導課長】**

それでは、続きまして、本年度採択についてご審議をお願いする小学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級教科用図書についてご説明いたします。

本年度使用の小・中・特別支援学校教科用図書は、本冊6ページからの別表1から3のとおりでございます。

別表4は令和6年度使用の小学校教科用図書の一覧、別表5は特別支援学校及び特別支援学級用に新たに選定された図書でございます。

各教科書の調査研究の結果は、委員の皆様及び傍聴者の皆様にお配りしてあります令和6年度使用教科用図書調査研究報告書にございますので、そちらをご覧ください。

では、この後、令和6年度使用の小学校、特別支援学校及び特別支援学級教科用図書の選定につきまして、船橋市教科用図書選定委員会委員長である学校教育部長より、ご報告させていただきます。

教育委員の皆様には種目ごとにご審議をいただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

なお、各教科書についてのご質問につきましては、主に担当の指導主事がお答えいたします。

**【教育長】**

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

それでは、令和6年度使用の小学校、特別支援学校及び特別支援学級教科用図書の選定につきましてご報告いたします。

はじめに、本日の報告に至るまでの経緯についてご説明いたします。

令和5年3月の教育委員会会議定例会において、令和5年度船橋市教科用図書選定委員会設置要綱及び専門調査員数についてご承認いただき、4月の教育委員会会議定例会において、選定委員会委員についてご承認をいただきました。

このことを受け、5月15日に第1回船橋市教科用図書選定委員会を開催し、令和6年度使用の小学校用教科用図書及び附則9条図書について調査・研究をするため、専門調査員会を設置いたしました。

専門調査員は、教育に対して豊富な経験を有し、各教科の教科用図書について識見を有する教職員でございます。

調査、研究に当たっては、県教育委員会が示した基本的な3観点である学習指導要領への対応、内容、造本を重視するとともに、本市の児童・生徒や教職員の実態、船橋市教育振興ビジョン・教育振興基本計画への適合等について考慮いたしました。

7月3日には、第2回選定委員会を開催し、専門調査員から調査報告と質疑を行い、その結果を基に令和6年度使用の小学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書について協議し、選定をいたしました。

選定に当たっては、次の4点に特に留意しました。

1点目は、教育基本法の趣旨や学習指導要領の基本的な考え方、内容を実現する上で最もふさわしいこと。

2点目は、船橋の児童・生徒にとって学びやすいこと。

3点目は、教師にとって指導しやすいこと。

4点目は、本市の教育振興ビジョン及び教育振興基本計画に適合していることでございます。

以上が選定までの経緯でございます。

#### 【教育長】

それでは、小学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書の審議に移りますので、教科用図書選定委員会からの説明を願います。

学校教育部長。

#### 【学校教育部長】

それでは、小学校教科用図書の選定結果について申し上げます。

はじめに、国語についてご報告いたします。

選定委員会では教育出版の「ひろがる言葉小学国語」を選定しました。

調査研究報告書の1ページから3ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、東京書籍でございます。

各領域の単元を「見通す」「取り組む」「振り返る」の学習過程で構成し、各単元の扉のページに既習の内容との関連や学習の流れを示し、系統性を確認したり見通しを持たせたりすることで、児童の主体的な学びを促しています。内容では、「取り組む」の段階で、言語活動に沿った3つのステップで学習計画が示されていることが特徴です。

また、デジタル資料が充実しており、児童が二次元コードを活用し、自ら資料を求めることができたり、「話すこと・聞くこと」では、実際に話し合いをしている様子が動画で確認できたりするなどの工夫がされています。

次に、選定された教育出版でございます。

全ての領域で単元の初めに「見通しをもとう」、最後に「振り返ろう」を設定し、「読むこと」の中の学習では、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」と指導要領の指導事項と連動したステップを位置づけています。他の領域においても、学習の進め方は、指導事項と連動しており、その中でどこに重点を置くか色をつけることで分かるようにしています。

また、内容では「書くこと」における手だてが具体的に示されており、書くことが苦手な児童だけではなく、教員が指導する際の参考にもなります。造本では3者の中で唯一、全学年、上下巻2冊になっております。

次に、光村図書でございます。

各単元で、「見通しをもとう」「ふりかえろう」を位置づけて、学習の流れを記載しています。「見通しをもとう」では、「目標」と併せて「問いをもとう」を設定しており、児童の問いを引き出す工夫をすることで主体的な学びを促しています。内容では、「読むこと」の学習において、昔から読み継がれている作品と児童が興味を持って読みそうな最近の作品をバランスよく取り上げていて、児童が読書に興味を持てるような作品が挙げられていると感じます。また、学習の手引きに多くの例があり、活動も多く示されていることから、それらを活用し、補充的、発展的な学習を展開することができます。

専門調査員との質疑の中で、各教科書とも既習の内容との関連や学習の流れを記載することで主体的な学びを促し、自分の考えを伝え合う場面を設けることで、対話的で深い学びが実現できるよう配慮されていることを確認しました。また本市の教員の実態として、若い教員が増えたことを考慮すると主体的な学習に取り組むためには、学習の仕方を丁寧に示し、具体的な手だてが多いものが、児童にとっても教員にとっても扱いやすいという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で協議した結果、教育出版は学習過程が明確であること、本市の児童に合っており、さらに教員にとって指導しやすいことなどの意見があり、全員一致で教育出版の「ひろがる言葉小学国語」を本市の小学校の国語

科教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

**【教育長】**

ただいま国語に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

国語と書写の教科書は連動している部分が多いと思いますが、書写は別の教員が授業しているという学校があると聞いています。そのいう場合を考えて出版社は同じほうがよいのか、あるいは国語は国語、書写は書写と割り切ったほうがいいのか、このあたりについてどのような検討をされているのか教えてください。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

書写についてですが、国語の学習指導要領解説の知識及び技能の中になが位置づけられております。そのため出版社が同じほうが、両方の教科書の特徴を生かした学習活動が展開できますし、教科としての狙いも達成できると考えております。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

国語は音読の宿題がよく出るので、児童が持ち帰る機会が大変多くなると思います。保護者目線で考えると、荷物の持ち帰る量を考慮していくと、5、6年生まで分冊の教育出版が扱いやすいのかなというふうに感じました。

**【教育長】**

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

国語はほかの教科よりも言葉とか文字にこだわらなければいけない、そういった教科

であります。先生の話は大事ですけれども、それだけではなくて、教科書の文字とかというのもしっかり捉えて、こだわる必要があると思います。特に小学生というのは、ちょっとしたことで教科書から目を離しますので、見やすさ読みやすさ、そういったこともとても大事だと思います。それについて、その観点からどうでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者とも特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、表記、表現については工夫が施されております。その中でも物語や説明文においては、5行ごとの行数字に加えて、1行ごとに行を示す「・」について、こちらは教育出版と東京書籍が採用しているのので、行を見つけたり指示したりしやすいようになっていると思います。

**【鳥海委員】**

ありがとうございます。

行について細かい配慮がされているのはとてもいいと思います。僕の小学生時代なんていうのは、先生がどこを読んでいるか分からなくて、大変でしたので。本当にこのへんが子どもがついていきやすい、また先生も非常に教えやすい、そういうふうになっていて、素晴らしいと思います

**【教育長】**

ほかにいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

先ほど蓮池委員から音読の話が出ていましたが、私も娘が2人いるんですけれども、下の子が音読をしているとき、上の子と同じ教科書だと、そこはそうじゃないよとか、家庭内とか兄弟とか親子とかで同じ話題ができるので、何年か同じ教科書を継続して使うということは、すごくそういう意味でもいいかなと思うので、教育出版さんを選ばれたのは妥当だというふうに感じています。

以上です。

**【教育長】**

そのほかにいかがでしょうか。

小島委員。



**【小島委員】**

1点確認になりますけれども、低学年は平仮名が多いので、やっぱり分かち書きがされていないと、変なところで区切ってしまって、音読を聞いていても親もちよっとよく分からないページがあったり、そういうこともあるので、分かち書きは大事だと思うんですけども、この部分に関しては、その点の配慮というのはいかがなんでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者ともに、1、2年生において文節ごとに空白を入れて、語のまとまりを意識した適切な位置で改行をしておりました。

**【教育長】**

私のほうからなんですけど、教師が教えやすいというところは非常に大切なことだと思いますが、子どもたちにとってどうかということは最大の観点、大切にしていきたいところだと思うんですけど、子どもたちの学びやすさとか、それから興味、関心の持ちやすさとか、持てるのか、興味あるのかとか、そういうことについて、各者どうなんでしょうか。

指導課指導主事。

**【指導主事】**

3者とも、単元で深めたい重点が分かりやすく明記されております。その中で、ノートや話し合いの様子などを図や動画などで具体的に示されております。また、身近なテーマや実生活に即したテーマを題材に扱っておりますので、学習で扱った内容をそのまま実生活で生かせるようにできるようになっております。

**【教育長】**

ありがとうございます。分かりました。

そのほかにもございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、国語の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した教育出版の「ひろがる言葉小学国語」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【教育長】

それでは異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する国語の教科用図書として、教育出版の「ひろがる言葉小学国語」を採択いたします。

続きまして、書写について説明をお願いします。

学校教育部長。

### 【学校教育部長】

書写についてご報告いたします。

選定委員会では教育出版の「小学書写」を選定しました。

調査研究報告書の4ページから6ページでございます。

ご報告いたします。

まず、東京書籍でございます。

単元ごとに、日常から課題が提示され、それについて話し合い活動を促す対話的な学習が構成されているのが特徴です。読みづらい字形や配列を示すことで、それをよいものにしようとさせる問いが随所に施されています。

教科書はB5変型判と幅が広がっているため、見本の文字も他者と比べて大きいものとなっています。また、「書写のかぎ」というページやコーナーによって、学習の目当てや振り返りが示され、児童だけではなく教員にも分かりやすいものになっています。

次に、選定された教育出版です。

単元の最初に試し書きを行い、そこから自分の目当てを見つけるという学習の流れが特徴です。目当てがはっきりと表示され、見通しや学習の進め方が分かりやすい紙面構成は、児童だけではなく若手教員にも使いやすくなっています。

また、止め、折れ等にめり張りがあり、毛筆の字体が美しいです。次の筆の流れが分かりやすいため、適切に運筆する能力の向上につながります。さらに、全学年に手紙の書き方に関する学習が設定されており、実生活に生きる学習が意図的、計画的に配列されております。

次に、光村図書です。

教材ごとに「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の進め方が明記されており、主体的、対話的な学習を促しています。1年に「書写スタートブック」、4年に「SDGsブック」、6年に「書写ブック」などが掲載されており、学んだことを定着させたり、発展的に活用したりするのに役立ち、深い学びにつながります。全学年、表紙にユニークな動きの猫が描かれており、その猫が絶妙な擬音語とともに筆の運び方

を示しています。

専門調査員との質疑の中では、各教科書とも学習指導要領の主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業展開がしやすく、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動が充実していることを確認しました。その上で、児童にとって扱いやすく、若手教員にとって指導しやすく、各教科の学習や生活の場面への活用が図られていることが重要だという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版は、造本の工夫によって児童が扱いやすく、見通しや学習の進め方が分かりやすいことで若手教員にも指導しやすいこと、国語の教科書との関連があることなどから、全員一致で教育出版の「小学書写」を本市の小学校の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

**【教育長】**

ただいま書写に関しまして説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

**【教育長】**

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

実際の授業の時に、この教科書と道具の置き方がどのようになっているのか、教科書が授業の中で邪魔になったりすることはないでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者とも、筆など用具の置き方については写真等で示しているのですが、基本的にはその形で各校取り組んでいます。教科書の幅や表紙の厚さが各者によって違うため、扱いやすさについては多少違いを感じます。机の上という限られたスペースですので、子どもたちにとってもそのちょっとした違いも影響はあるかなというふうに考えております。

**【教育長】**

小島委員。

**【小島委員】**

掲載されている見本を見ますと、教科書によって若干文字の大きさに違いがあるというふうに印象を受けました。半紙と並べて使用するという置き方になると思うので、そうすると見本の文字が大きいと子どもたちの文字も大きくなるのか、何かそういうふうな影響というのはあるのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

やはり見本なので、子どもたちへの影響は大きいと考えられます。

今回の選定に当たっては、適切に運筆する能力という観点で意見が交わされております。その中で毛筆の字体の美しさ、止め、折れなどのめり張りという点で、教育出版の名前が挙がっておりました。

**【教育長】**

それでは、私のほうから。

各者とも、非常に効果的なイラストを使用していきまして、子どもたちにとって興味を引きやすい、そういうつくりになっています。その点はいいなというふうに感じております。

筆遣いの見本とか、それから二次元コードを使って見られる動画などによって、筆の運筆が非常に分かりやすく習得できるような、そういうつくりになっているところはいいなというふうに思いました。

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

このタイミングでこの発言をするのは適切かどうか分からないんですけども、書写というわけではなく、全体的な教科書について、今後の採択の際にちょっと配慮していただきたいなことなんですけれども、先ほどの国語ではあまりなかったですし、この後、道徳なんかはほとんど使われていないんですけども、各教科書に子どもさんのモデルの写真が使われているケースが幾つかあって、やっぱり船橋市の教育大綱に人権教育ということを強くうたっているわけですし、お子さんの人権というものを考えるときに、例えば今、ネットの時代ですので、SNS等で個人が特定されてしまうとか、あるいはその方が大人になったときに、どのようにお感じになるかといったようなことを考えると、できるだけ教科書で子どもさんのモデルを使うというのは、やめたほうがいいんじゃないかという方向を船橋市として打ち出してくようなことを考えていくこと

も必要かなというふうに思いました。

その辺を、ここも教科書選定において少しご配慮いただけるとありがたいなというふうに感じた次第です。どうぞよろしくお願いします。

**【教育長】**

今後のことということですね。分かりました。

そのほか何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、書写の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました教育出版の「小学書写」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する書写の教科用図書として、教育出版の「小学書写」を採択いたします。

続きまして、社会科について説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

社会についてご報告いたします。

選定委員会では東京書籍の「新しい社会」を選定しました。

調査研究報告書の7ページから9ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

大きな特色としましては、学習指導要領で示されている問題解決的な学習過程が明確に示されるとともに、解決に向けた資料が豊富に掲載され、児童が主体的に学びを深めることができる構成となっているということです。これは、児童の社会に参画する意識を高め、よりよい社会をつくるための学びに生かすことを重視しており、本市教育大綱の留意する6つの取組のうち主権者教育の推進に資するものです。

また、そのほかの特徴としましては、重要語句については、「ことば」というトピックを設定し、詳細な解説文を示すことにより、基礎的、基本的な知識の確実な習得ができるよう十分な工夫が施されております。配本については、第5学年、第6学年が分冊

となっており、教科書の重量や厚さに配慮がなされております。

次に、教育出版です。

主体的、対話的で深い学びを実現するために、各学年の巻頭で問題解決的な学習のモデル図を示し、見通しを持って学習が進められるよう配慮されています。また、比べる、関連づける等の社会的な見方、考え方を明示することで、社会科の学習における視点や方法を意識づけることができます。

そのほかの特徴としましては、日本の伝統や文化に対する理解を深める教材を適切に取り上げ、我が国に対する愛情や誇りを涵養する配慮がなされています。造本については、各学年1冊の配本となっており、学習内容の継続性を担保しています。

次に、日本文教出版です。

主体的、対話的で深い学びを実現するために、学習問題を見いだす際に児童一人一人の素朴な疑問を生かそうとする工夫がなされており、主体的に学習に取り組む意欲を促進する手だてが取られています。

また、教科書本文の構成を学習活動、友だちの発言、学習内容の3つに分けて示すことで、問題解決的な学習における学習活動をつかみやすくしています。造本については、各学年1冊の配本となっており、1年間の学習の見通しを持ちやすくしています。

専門調査員との質疑の中で、3者ともに学習指導要領に準拠し、発達段階に合わせた問題解決的な学習過程が取られていること、学習の進め方が丁寧に示されていることで、児童は見通しを持って学ぶことができること、同時に若年層の教員にも扱いやすいこと、また、3者のページ数の違いについては、内容の構成方法のためであり、問題はないことを確認しました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、問題解決的な学習を通して、主権者としての資質、能力を育む視点が多く盛り込まれていること、問題解決的な学習の中にあっても、基礎的、基本的な知識、技能の習得が図れるよう十分に配慮されていること、学習内容が多くなる第5学年及び第6学年の教科書が、3者の中で唯一分冊となっており、児童の持ち運びの際の重量に配慮されていることなどの意見があり、全員一致で、東京書籍の「新しい社会」を本市の小学校の社会科教科書として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいま社会に関しまして説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

#### 【小島委員】

どの教科でもSDGsについて触れられ、社会では、例えば環境問題とかを教科書で取り上げるというのが多いと思うんですけども、やっぱり実生活とのリンクがないとなかなか習っただけ、覚えてだけというふうになってしまうんですが、家庭とのリンクという観点からちゃんと工夫がされている教科書というのはあるのでしょうか。お願いします。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者ともSDGsに関する内容を適切に扱っており、これからの地域や社会、くらしの在り方について主体的に考えることができるようになっております。

東京書籍では、持続可能な社会のづくり手としての意識を高める発問に工夫が見られます。その発問から実生活につなげるといったことが記述として見られます。ほかの2者では、位置や気候、産業との関わりなど社会科の視点を踏まえており、知識や資料を適切に読み取る工夫が見られています。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

問題解決的な学習過程が取り入れられていることですが、各者ともにそのようにはつくられていると思うんですが、東京書籍は他の2者と比べてどのような違いがあるのか、教えていただければと思います。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

3者ともに、学習問題を見だし、調べて、まとめるという問題解決的な学習過程が取られています。その中で東京書籍は、まとめるという学習過程の後に、身につけた知識や技能などを生かす学習過程を設定しております。これは、社会で学んだことについて、自分事として捉えることができ、社会参画への意識を高め、よりよい社会をつくらうとする主権者としての意識を育むことができるという違いがございます。

**【教育長】**

それでは、私のほうからなのですが、3者、見せていただきまして、読ませていただきまして、東京書籍の教科書につきましては、単元やまとめりごとに工夫がらされて整理されているように感じます。そういう意味で地元の子どもたちが考えやすい、活用しやすいことを含めて、非常に興味を持てます。それから、教員のほうも若年層も含めて、非常に授業の計画を立てやすくなる、結果的に授業しやすいのかというふうに感じております。

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

意外と社会というのは難しい日本語が多いんです。なので、使われている書体とかあるいは振り仮名、そういったことに対する配慮というのはどうでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

まず文字配慮につきましてはですけども、サイズや字体につきましては、学年が低くなるにつれ大きく行間も取られ、広く取られており、読みやすさに配慮がなされております。振り仮名につきましては、今、ご指摘がありました難しい言葉や特徴のある言葉につきましてはつけておりますし、その学年で学ぶ漢字が初めて出るときにつけるなどの配慮がされております。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

先ほど指導主事さんからご説明いただいた中で、特に東京書籍さんが自分事として捉えることができるとか、社会参加への意識を高めるといったようなことをおっしゃっていたんですけども、そういった観点というのは、船橋市の教育大綱の主権者教育の推進という観点からもすごく重要な点だと思うので、その点についてとてもよいなというふうに感じました。

また、東京書籍さんなんですけれども、理科とか社会とかというのは、問いを立てるというのがすごく大事だと思うんですけども、ポイントポイントで、問いが立ってい



て、これについてどうかなという問いが立っていて、そのところに猫型の国民的キャラクターが使われていて、子どもの目を引きやすいというような工夫もされていて、非常に考えを、先ほどの主権者という観点から物事を考えるのに適切な教科書じゃないかなというふうに感じました。

以上です。

**【教育長】**

分かりました。

そのほかにいかがでございましょうか。

それでは、社会の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新しい社会」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する社会の教科用図書として、東京書籍の「新しい社会」を採択いたします。

続きまして、地図について説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

地図についてご報告いたします。

選定委員会では帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を選定しました。

調査研究報告書の10ページから11ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

地図帳のみの帝国書院とは異なり、社会科の教科書も出版している会社です。その観点から鑑みると、地理だけでなく歴史や政治等に関する学習において地図帳を活用できるような工夫が施されています。初めて地図帳を手にする第3学年の児童への対応については、冒頭で豊富なイラストを用いることで地図帳への親しみを持たせ、地図帳を主体的に活用するための工夫が見られます。統計資料については、文字が大きく表記されとても見やすく、都道府県の特徴がつかみやすくなっています。

次に、選定された帝国書院です。

初めて地図帳を手にする第3学年への対応がしつかりとなされていることと、様々な縮尺の地図を使用し、発達段階に応じて活用できるようになっています。これは、「広く見渡す地図」という従来の地図よりも縮尺を小さくし、市町村名等の情報を精選した地図を取り入れたり、地図帳の使い方について、順を追って身につく工夫がされたりすることにより、第3学年の児童に対して十分な配慮をしています。そして、主体的に地図帳を活用するための「地図マスターへの道」により、地図を活用した成果を第6学年まで積み上げられるような工夫を施しています。歴史や政治等に関する学習はもちろん、教科等横断的な学習における様々な場面で活用できるよう十分な配慮がなされています。

専門調査員との質疑の中で、2者ともに学習指導要領に準拠し、防災教育、日本の領土に関する記述が充実していること、教科等横断的な学習に対応し、他の教科等でも地図帳が活用できるように工夫されていることを確認しました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、帝国書院は、地図帳を初めて手にする第3学年の児童にとって、情報を精選した「広く見渡す地図」を掲載することで、親しみを持たせていること、地図の基本的な概念を分かりやすく解説し、その使い方について、順を追って身につく工夫をしていること、「地図マスターへの道」の課題をクリアしていくことで、発達段階に合わせた地図活用の技能や社会的な見方、考え方を働かせた思考力、判断力、表現力等を身につけることができることなどの意見があり、全員一致で、帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を本市の小学校の教科用図書地図として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいま地図に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

鳥海委員。

#### 【鳥海委員】

現在、社会科の教科書は東京書籍を使っていて、地図帳は帝国書院を使っているとのことですが、東京書籍には教科書も地図帳も両方あるんですけども、異なる教科書会社を既にずっと使っている経験の中で、授業をするに当たって何か不都合な点というのはございますでしょうか。

#### 【教育長】

指導課指導主事。

#### 【指導主事】

不都合な点というところですが、特にございません。学校の先生方からも、教科書と異なることで特に不都合があるということは聞こえておりません。

**【教育長】**

そのほかよろしいでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

現在の船橋市における地図帳の活用についてはどのような状況でしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

船橋市における地図帳の活用について、社会科の授業では社会的な見方、考え方、つまり社会科を学ぶ視点や方法のことですが、その一つに位置や空間的な広がりがございます。授業では地図帳を効果的に扱い、その力を育てております。また、他の教科や校外学習での活用も見られております。

**【教育長】**

小島委員。

**【小島委員】**

帝国書院は、3年生の導入からだんだん詳しいことが下のほうに持っていつているというような構成、これはすごく、地図を見慣れていない3年生にとっても取っつきやすいし、6年生、大分見慣れてきている子からすると充実しているし、見やすいと思いますし、見やすさや全体を把握するという意味の、こういう構成、非常に適していると感じました。また、73ページだったと思うんですけども、この見開きで、船橋市の大体の大きさが分かって、東京の23区などとも比較できるというような、発展的に興味を持たせるということもできるので、そういった、いいのではないかなというふうに思っております。

ところで、児童が校外学習で行くような場所とか、よく見て知っているような施設が載っているというふうに、地図に親しみを持つという意味では好ましいとは思っているんですけども、その点について何か両者に違いはあるのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

どちらの地図帳も校外学習ということでは、千葉市動物公園、野田市のしょうゆづくり、三番瀬などの訪れる場所の記載がございます。特徴的なのが、帝国書院にあります20万分の1の縮尺の地図でございます。こちらには新たに船橋市初の国の史跡に指定されております縄文時代の遺跡である取掛西貝塚が追加されて記載されております。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

今、指導主事さんからご説明いただきましたその取掛西貝塚に関しては、これからもぜひ船橋市の小学校等で教育をいただきたいというようなことが、この間、取掛西貝塚の保存活用委員会のほうでも話が出ていましたので、ぜひそういうことをリンクできるといいかなというふうに思います。

また、帝国書院さんもつくりなんですけれども、表紙がちょっと体裁がよくて、雨にぬれたりとか、そういったようなときになんか強いつくりになっています。この間の校外学習だとか、あるいは家庭でも旅行に行ったときに、地図を持ち運んでその地図になじんでいくというふうなこと、あるいはそれを4年間継続して使うという観点からすると、適切なんではないかなというふうに感じました。

以上です。

**【教育長】**

そのほか何かございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、地図の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する地図の教科用図書として、帝国書院の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を採択いたします。

続きまして、算数について説明をお願いします。

学校教育部長。

#### 【学校教育部長】

算数について、報告します。

選定委員会では、啓林館の「わくわく算数」を選定しました。

調査研究報告書の12ページから15ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

単元導入時に「単元プロローグ」や「学びのとびら」を設定したり、数学的活動を可視化した「今日の深い学び」などを設定したりすることで、問題解決型の学習の視点を持たせ、主体的、対話的で深い学びを促すとともに、算数科の目標を達成するために必要な内容が適切に取り上げられております。また、教科書に使用する色数を減らし、淡い配色を基本とすることで余計な情報が目に入らないように配慮されております。1年生ではスタートカリキュラムを考慮し、第1巻は、A4判で操作活動や書き込みをしやすくしています。

次に、大日本図書です。

「プログラミングに挑戦」のページを充実させ、2学年以降はコンピューターを使わずプログラミング的思考に触れる教材とScratchを使ってプログラムをつくる教材の2つを掲載しています。「おうちで算数」を設け、学習したことを家庭や地域での生活にも生かすよう促す内容となっております。2から6年は学年1冊の合冊ですが、デジタルコンテンツの活用でページ数を削減する工夫がありました。

次に、学校図書です。

いろいろな見方、考え方をキャラクター化することで、自力解決や振り返りなどで数学的な見方、考え方を身につけやすくなり、児童が楽しみながら算数を学んでいけるような工夫があります。小・中の円滑な接続のため、6年生では別冊「中学校の架け橋」を設け、小学校の総復習と発展的な内容を取り扱っています。教科書はA4判の大きさを横に若干広い仕様でつくられています。

次に、教育出版です。

単元導入に日常生活から問題を見いだす場面を見開き2ページで掲載し、解決の手がかりを示すことで問題発見力、解決力、追究力を育てられるよう構成されております。単元末の4コマ漫画で、学んだことを振り返り、見方、考え方が心に残るよう内容を工夫しています。ユニバーサルデザインフォントを採用し、図版に色名を付記して、色調以外でも区別できるように学びやすさに配慮した造本になっております。

次に、選定された啓林館です。

日常の事象や既習内容を基に主問題を設定し、その全てに目当てとまとめを示し、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫しています。デジタルコンテンツの内容が豊富で、解説動画のスマートレクチャーは学年を超えて利用ができ、児童自身のペースで停止したり、繰り返し見たりすることで個別最適な学習を行えます。視覚や色覚の個人差を問わず紙面の内容が理解できるように工夫されています。

最後に、日本文教出版です。

毎時間の振り返りに加え、単元全体の振り返りを大切にし、児童自身が、何をどう学び、何ができるようになったのかなど、変容を自覚する工夫が施されています。1年生第1巻では幼児期の活動と算数のつながりが絵本仕立てで描かれており、学習への期待と安心感を抱かせるつくりになっています。5、6年生の合冊はしおりのひもをつけ、装丁を工夫しています。

専門調査員との質疑の中で、問題発見や問題解決の過程がよく分かる、子どもにとって学びやすく、教師にとって教えやすい教科書が、船橋の教師や子どもにとって使用しやすいという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、啓林館は、基本単元の全ての時間に目当てとまとめが例示され、子どもたちが主体的に学習に取り組みやすい。また教員にとって授業の流れがイメージしやすく教えやすいこと、6年間を通して各教科、特別の教科である道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連がなされていること、デジタルコンテンツが豊富で、かつ字幕表示や再生速度を変えることができるなど、個別最適な学習が行えることなどの意見があり、全員一致で、啓林館の「わくわく算数」を本市の小学校の算数教科書として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいまの算数に関して説明がございましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

#### 【小島委員】

1年生にくっついているものがある出版社があります。スタートブックとか、名称はいろいろなんですけれども、そういう分冊については実際はどのように使われているのか、教材でドリルとかも購入されているケースも多いのかなと思うので、そのあたりも関連に含めて教えてもらえればと思います。

#### 【教育長】

指導課指導主事。

**【指導主事】**

まず今回、1年生のスタートカリキュラム用に別冊を作成しているのは東京書籍、それから大日本図書、啓林館、日本文教出版の4者になります。この別冊は、4者ともに非常に薄いつくりであり、教科書を開いてもフラットな状態のままです。教科書の上でブロック操作を行いやすくなっているという工夫があります。また書き込み式にすることで、ノートを机の上に出す必要もないという利点もあります。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

各章末、巻末の練習問題は、やはり苦手に気がついて、それを克服する、再発防止にしなければいけない。あるいはどこに戻ればいいのかみたいなものが、ガイドになるものが理想だと思うんですけども、実はどの教科書もそこが足りていないというふうに感じます。

その中でも啓林館は、既習事項をまとめてから新しい演習問題に入るよということで、中でもつまづきを減らそうという工夫が見られる教科書かなというふうに感じました。そういう意味では啓林館がいいかなというふうに思っています。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

どの教科書も非常に工夫されていて、本当に一長一短があるなというふうに感じました。例えば、学校図書さんなんかは、先ほどご説明もありましたように、いろんな見方、考え方をキャラクター化していたりとか、そういったようなところで、かなりヒントを与えるようなつくりになったりとか、非常に面白いなと個人的には思ったんですけども、ただ、やっぱりこれは使う方が慣れているものいいかなというふうに思いますので、本当にどの教科書も優れているとは思いますが、引き続き啓林館でいいんじゃないかなというふうに思いました。

ただ1点、啓林館も含め巻末に、我々のときそんなことはなかったですけども、非常に魅力的な付録がついているので、それをぜひ学校教育の中で上手に活用して

いただければなというふうに思います。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

私は全ての教科書を見る中で、啓林館さんと大日本図書さんが非常に見やすく感じまして、そうなるとこれまでの流れ等もありますし、指導してきたカリキュラムの流れ、順番等もあると思いますので、私も啓林館でよろしいんじゃないかというような印象を持ちました。

**【教育長】**

ありがとうございます。

それでは私のほうからなのですが、船橋市地域の特性といたしまして、外国籍のお子さんが数多くいます。そういう意味で何か工夫をされていると感じるような教科書はありますか。

指導課指導主事。

**【指導主事】**

船橋市の現状に対しては、啓林館の教科書についている二次元コード、こちらの様々なQRコンテンツに入っている、前の学年の内容に戻って閲覧することが可能であるというふうなのが非常に適しているかというふうに思います。特にそのQRコンテンツ、様々ある中にスマートレクチャーという解説動画のデジタルコンテンツがあるんですが、このスマートレクチャーは、先ほどもありましたが、平仮名での字幕表示もあります。それから途中で動画を停止したり、再生速度をゆっくりしたりということもできます。そのため、日本語に遅れのある児童などにとっても、個別最適な学習を行う手助けとなるようになっていきます。

以上です。

**【教育長】**

ありがとうございます。

そのほかに。

鳥海委員。



**【鳥海委員】**

数学の文章問題を解くに当たっては、文章のイメージ化、文章の数式化がとても大事なことです。文章の図表化とか、映像化とか、そのイメージをしていくということがすごく大事なんですけども、理論的にそれをしていくのは実際言葉であって、日本語があまり得意じゃない外国の児童・生徒もいますし、また、実は日本人にとってもこのスマートレクチャー、再生速度を変えられるというのは、非常に理解していく上で、あるいはちょっと苦手だなというところをゆっくり学習していくのに、優れた機能だなというふうに思います。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、算数の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した啓林館の「わくわく算数」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する算数の教科用図書として、啓林館の「わくわく算数」を採択いたします。

続きまして、理科について説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

理科について、報告します。

選定委員会では、東京書籍の「新しい理科」を選定しました。

調査研究報告書の16ページから19ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

どの教科書会社も問題解決型の学習は意識されていますが、東京書籍の教科書は単元の導入に児童が問題をつかむための活動が設定されています。また、問題、課題をつかむ際の視点が提示されており、デジタルコンテンツで話合いの例も用意されているので

若年層の教員でも対話的に学習を進めるイメージを持ちやすいことも特徴です。造本に關しまして、東京書籍、大日本図書の2者はサイズがA4と他の3者よりも大きくなっております。サイズが大きい分、図表や写真が大きくて見やすいです。

次に、大日本図書です。

子どもや指導者が問題をつかみやすいよう、挿絵の子どもたちの会話で、学習したことをもとに次の課題について考えることができるように工夫されています。単元末の「学んだことを生かそう」を参考にすると、生活の場面に結びつけられるような工夫がされています。また、千葉県や船橋市に関わる写真が多く、身近な地域の写真の掲載は児童の関心を高める要因になるものと考えられます。東京書籍の際にも報告しましたが、造本が他社よりも大きいA4サイズのため、他者よりも図表や写真が大きいのも特徴と言えます。

次に、学校図書です。

特徴といたしましては、学習内容とSDGsの関連についての記載が多く見られることです。17の目標のどこと関連しているかが分かりやすいので、理科の学習を発展させて総合的な学習の時間の単元を設定するなどの学習活動にもつなげやすいと考えられます。

また、時間がたつと色が消えてしまうので写真を取っておこうなど、実験で陥りやすい失敗への対応が掲載されているものの特徴です。

次に、教育出版です。

特徴といたしましては、巻頭に学習の進め方が提示されており、学習がそれに応じて進められるようになっております。また、話合いの場面が多く掲載されていて、授業を進める際の参考になります。

単元の導入場面で中学校の指導事項との関連や、まとめの後の発展的な内容として中学校での指導事項が掲載されていることも特徴と言えます。

次に、啓林館です。

特徴といたしましては、算数科で学習したことが理科の学習でどのように活用できるかが記載されていることです。

また、巻末の「ものづくり広場」では、学習内容を生かしたおもちゃ等の作り方が分かりやすく掲載されていることも特徴です。3年生の教科書には極厚の素材でできた植物たんけんシートがついており、切り離してそのまま授業で使えるようになっています。

専門調査員との質疑の中で、子どもたちの学ぶ意欲を引き出す工夫が特にされているのが東京書籍、大日本図書、生活との関連が分かりやすいのは啓林館、東京書籍、大日本図書、二次元コードの活用等も含めて実験方法が分かりやすいのは東京書籍、大日本図書であるという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、子どもたちの学ぶ意欲を引き出す単元の導入の活動が提示されていること、若年層の教員など経験の少

ない教員にも使いやすいこと、二次元コードによるデジタルコンテンツが充実していることなどの意見があり、全員一致で、東京書籍の「新しい理科」を本市の小学校の理科教科書として選定いたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

ただいま理科に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

質問になります。非常につながりがとても大事になってくると思うんですけれども、1、2年生の生活科が3年生からの理科につながっていきってくるかと思うんですけれども、生活科と理科の教科書が会社が違うことによって影響があるのかということと、小学校と中学校の間で、やはり違いがあると何か影響があるか、その点について何かお考えがあれば教えてください。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

お答えいたします。

特に影響はないと思われます。現在も船橋市内、小学校の理科に関しましては東京書籍、生活科が大日本図書、そして、中学校の理科が啓林館の教科書を使用しています。学校訪問等で回っていても、これらが異なることによって指導がしにくいといった声は特に聞こえてきていません。

以上になります。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

先ほどもご説明いただきましたが、やっぱり子どもたちにとって自分の身近な市内であったりとか、県内といったようなところの情報が掲載されているというのはとても重要なことだと思っております、大日本さんでも船橋の写真がいろいろ使われていると

ということだったんですが、私見た中では東京書籍の6年生の教科書に、船橋市内の三番瀬環境学習館の記載がかなり大きく出ているといったようなことで、子どもたちの学ぶ意欲ですとか、あるいは身近な地域の理解のところにつながると思いましたので、これがいいなというふうに感じました。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

私も意見なんですけれども、本当に理科というのは、もう子どもによって一人一人、もともとの興味とか持っていたりとか、それによつての知識量がかなり大きい科目で、だからこそ教えるのがすごく難しいです。もう理科が嫌いになるタイミングなんかいつでも用意されているような、そういった環境だと思うんです。そんな中、以前と違って今、助けてくれるのは二次元コードでのデジタルコンテンツ、いつでも引き出せて、ちょっとというときに調べやすいという工夫がされていて、まずその配置、いいところに東京書籍は配置されているなというふうに感じることに、ちょっと嫌いになっちゃう代表なもの、例えば植物から少し動物が出てくる虫、昆虫なんていうときに、東京書籍さんの3年生になりますけれども、昆虫をロボットで作るところに、その例です。こういうふうに行くものの機能とか、理解していくことはとてもいいことで、本当に充実しているな、本当に理科嫌いにならない、充実しているなというふうには東京書籍について思います。

**【教育長】**

それでは私のほうからなんですけど、今の鳥海委員からのお話ありがとうございました。近年、特に最近ではICT活用について、特に1人1台端末の活用は非常に重視されているところなんです。二次元コードの充実というのは、今後、個々の子どもたちにそれぞれのいわゆる個別最適化と言われるんですが、そういう個々の子どもたちに合った学習をしているというようなことで、非常に重要になってくるんじゃないかなというふうに、思っております。そういう意味では二次元コードの充実というのは、これからさらにどういう形の充実というか、子どもたちの学習しやすいようにしていけるか、これは小学生に限らず、中学生も既にそうだと思うんですが、そういう観点も非常に重要なな思っているところでございます。私の意見です。

ほかはいかがでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

また質問になるんですけども、結構今の教科書は出版社によって大きさや重さがちよつとばらばらかなと思っただんですけども、大きくなると当然、その分重くもなってしまうという、そういうことでの影響というのはどうなんでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

大きさにつきましては、学校図書と啓林館がいわゆるA B判で、教育出版がA B判なんですけれども若干長いサイズ、そして、先ほども報告でありましたが、東京書籍と大日本図書がA 4判になっております。重さに関しましては、学年によってもちよつとばらばらということになりますので、一概にどこの会社取り扱いやすいということはないと思うんですが、昨今、理科の教科書、毎回持ち帰ろうということをしていなくて、結構学校に置いていっていいよというふうにしている学校が多いので、その辺の重さとかに於いての影響というのはそんなにどの教科書会社もないかなと思われま。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

これも感想なんですけれども、各者非常に努力の跡が見えていて、教科書も比べても甲乙つけ難いところがあるんですが、先ほどちよつと私見やすさの部分で着目してしまったんですが、理科は実験や観察等がある教科で、見やすいということではとても大切な部分が含まれる教科だと思います。写真や図表の見やすさも非常によく、サイズが大きいという部分が影響していると思うんですが、私は東京書籍さんが一番見やすいように感じました。

以上でございます。

**【教育長】**

私のほうからなんです、各社とも、単元末に「振り返ろう」などと題して単元のまとめのページがございます。単元の内容が一目で分かる、そういうページは本当に大切だと思っております。そういう中でも東京書籍さんとそれから啓林館さんの教科書は、

これちょっと特徴的なんです、子どもの手書き風になっているのが非常にいいのかなというふうに思います。子どもたちは学習量というか、いろんなことでほかの子がどう考えるか、そういう意味で自分がやってみようという活動につながるのではないかなというふうに思いました。

指導課指導主事。

**【指導主事】**

この件に関しましては、必ずしもやらなくちゃいけないという学習じゃないんですが、小学校ではよく単元の最後に勉強したことを自分なりに1ページでノートにまとめてみましょうとか、1枚の紙にしてみましょうという活動を、よくある学習の光景です。その際に、このような手書き風になっている教科書の掲示の仕方というのは、子どもたちにとってとても参考になるのではないかと思います。

以上です。

**【教育長】**

分かりました。

そのほかに何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、理科の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新しい理科」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する理科の教科用図書といたしまして、東京書籍の「新しい理科」を採択いたします。

続きまして、生活について説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

生活科について、報告します。

選定委員会では、大日本図書の「だいすき/ひろがれ」を選定しました。

調査研究報告書の20ページから23ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

活動や板書の様子、ワークシートの書き方例が、イラストや写真で描かれているページが複数あります。「いきものずかん」では、実際の大きさの植物の写真が掲載されていて児童が実感を持つことにつながっています。

町探検用に描かれている地図が、学習で取り上げる部分だけカラーで表され、そのほかの部分はモノクロになっており、次の単元では、カラーの部分がぐんと増えるという工夫がなされ、学習が進んでいることを実感できるようになっています。

次に選定された大日本図書です。

植物に関する内容は大日本図書だけがまとめ取りではなく、各季節の学習の中で、その都度「さいばい」というページが設定されており、児童が育てている植物の成長と照らし合わせながら学習できる構成になっております。そのため、季節の変化と学習を関連づけて考えることができ、児童のみならず、若年層の教師にとっても指導しやすいと言えます。全体を通じて教科書に書き込む部分がふんだんに盛り込まれており、段階を追って自己評価のレベルを上げていくような工夫がされています。

「かくしゅうのどうぐばこ」で総合的な学習の時間につながるような調べ方、まとめ方、発表の仕方のヒントになるものがあります。

次に、学校図書です。

登場するキャラクターの個性が確立されており、実感を伴うキャラクターの言動が、学習活動のイメージ化や学習した内容の理解の助けになっていると考えます。「もっと～したいな」というページが節目ごとに登場し、発展的な学習に目が行くようにしています。「もぐもぐ」「ぴくぴく」など音に関する文字が記されており、五感を使った観察に目が行くようになっています。

季節に関する学習では、同じ場所のイラストを用い、定点観察の視点から各季節の違いを読み取らせようとする工夫が見られます。

次に、教育出版です。

積極的に外国籍や車椅子を使用している児童の写真やイラストを入れるなど、多様性を意識したつくりになっています。「はっけんろうど」をキャラクターが進むことで、学習の流れをイメージできるようになっております。最終地点には「ぐんぐんはしご」があり、そのはしごを登っていく様子から活動への振り返りの意識化につながっています。巻末にある「学びのポケット」では上下巻ともに各項目がどの教科や領域との関連があるかを明示し、教科等横断的な学習への意識化を図っています。

次に、光村図書です。

見開きページの右上に「こんなこともあるかもね」「どうしてだろうなんでだろう」等のコラムがあり、右下に生活科の学習で大切にしたい視点を明確にした振り返りを促す内容が記されています。「ひろがるせいかつじてん」が教科書から独立していたり、

「各季節のなかまたち」の図鑑もミシン目により切り取ることが可能になっていたり、それだけを持参して野外の観察活動が可能になるよう工夫されています。

下巻には「3年生の学しゅうをのぞいてみよう」という項目があり、理科、社会、外国語活動、総合的な学習の時間について紹介されています。

最後に、啓林館です。

「わくわく・いきいき・ぐんぐん」の記述があり、学習過程の位置づけが分かるようになっています。また、学習指導要領の3観点に基づく振り返りの視点がイラストで記されているところが特徴的です。イラストで白杖を持った方や点字ブロックが大きく描かれるなど、視覚障害者への気づきも含めた多様性に目が向くよう配慮されています。

「びつくりずかんL I V E」は各単元に付随し、とても色鮮やかな写真で構成されています。「がくしゅうずかん」は巻末にまとめられています。

専門調査員との質疑の中で、どの教科書も学習指導要領の目標に即しており、児童の興味、関心を引き出す工夫がされており、幼児教育との連携や接続を意識したスタートカリキュラムなど全者工夫されているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、大日本図書の「だいすき/ひろがれ」は、季節に沿った単元構成になっていて児童にとって分かりやすいこと、全体を通じて教科書に書き込む部分がふんだんに盛り込まれており、振り返りでは段階を追って自己評価のレベルを上げていくような工夫がされていること、総合的な学習の時間へのつながりが意識されていることなどの意見があり、全員一致で、大日本図書の「だいすき/ひろがれ」を本市の小学校の生活科の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいま生活科について説明がございましたが、何かご意見、質問等ございますでしょうか。

小島委員。

#### 【小島委員】

この中でも光村図書さんが末尾に切り離して外に持って行けるこういう写真の図鑑です、そういうものを、紙質も汚れにくいタイプのもの、URLなども使われていて、やっぱり教科書で学ぶだけじゃなくて、実際に見てみるという作業が生活科ではとても大事だと思いますので、ぜひ手軽に持って行ってということが出来る部分、とてもいいなと思いました。

それに関して保護者やこの年代のお子さんなど、みんなになじみがあるんじゃないかなというヨシタケシンスケさんのイラストが使われていて、コラムも分かれていて、そのコラムの内容のほうでも非常に子どもの視点というのが大事にされている。そして絶



対そうじゃなきゃいけないというんじゃなくて、こうなったらどうなるんだろうという、そういう次のステップを常に意識しているコラムの内容になっているという、そういう本としての魅力もある珍しいタイプの教科書かなというふうに思っています。

あとはほかの教科書がタイトルのところに何々をしようとか、何がどうなっているかなというふうに知る対話等も教師だったり、そういう自分以外の誰かから問われてそれに答えようというようなのをどうしても意識させるようなイラストが使われているんですけども、光村図書さんは子どもの絵が、例えば何か作れるかなというふうに言っている、ここにやはり大きな違いを感じまして、未就学児の入学する前は、親や大人にこれ何、あれ何、何でこうなるとずっといろんな質問をする側だったのが、小学校に入ったとたん、自分が問われる側になぜかなってしまって、問われたことに答えを言う、正解を言うことが学校であり学習であるとしても勘違いしてしまった。そういうものからやっぱり脱却していかなきゃいけないという意味のときに、自分が疑問に思っているという、本当にすごい小さいことなんですけれども、この部分がとても大事なのかなというふうに思いました。

すみません、ちょっと光村図書は絵も非常に、なので光村かなと感じた次第です。

#### 【教育長】

私のほうからなんですけど、これは1年生の文字の学習との関連があるのかなというふうに思うんですが、平仮名表記、それから片仮名の表記、それからルビつきの表記と各者の違いがあるようなんですが、大日本図書の教科書は花の名前が片仮名表記になっていてルビが振られているんです。これについて、ちょっとあまり見慣れないと思う部分もあるんですが、子どもにとってこれはどうなのでしょう。

#### 【教育長】

指導課指導主事。

#### 【指導主事】

確かに1年生の児童が片仮名を学習するのは大体7月頃となりますので、全ての児童が既習事項だけで読むことができるというのは平仮名表記になるかと思います。しかし、片仮名が読める児童にとっては、これはかえって読みづらいという面もございます。その点、片仮名に平仮名のルビがあれば、自然と片仮名も覚えるようになるため、片仮名学習の助けにもなりますし、児童にとっても使いやすいと言えると思います。

#### 【教育長】

全体を見て非常に使いやすいということになりますね。ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

東京書籍さん、学校図書さん、光村図書さん、啓林館さんはそれぞれの工夫で若干重く感じました。各者重さの違いが教科書ごとにあるようですけれども、持ち帰りのことを考えると負荷がかかると思うんですが、この辺はいかがでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

持ち帰りの件なんですけれども、生活科の教科書は基本的には毎日持ち帰りませんし、あと、教科書を持って探検活動に行くということも基本的にはないので、重さはさほど問題にならないかと思います。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

意見なんですけれども、生活科というのは、恐らく大体試験がない、テストがない、すばらしい科目なんです。気楽にといいますか、聞けるというか、授業に参加できる科目で、なのにたくさんいろんな分野について教えなければいけないということなんです。私この科で絶対に教えてほしいのが安全対策、安全への配慮というものを繰り返しそれは、教育現場のどこで教えるかといったら、もうこの科に頼るしかないなと思ってはいるんですが、この光村図書さんは安全に関する学習というのが上巻にも下巻にも両方に大きく取り扱っているという、そういうところがすごく高く評価しています。

**【教育長】**

そのほかにいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

今、鳥海委員さんから安全の配慮が大事だという話があって、私ももう一つ重要な観点で、先ほど各教科書、スタートカリキュラムとしてかなりそれぞれユニークで、工夫があるという話だったんですけれども、いわゆる1年生におけるクラスのチームビルド

というのがすごく重要だというふうに思っていて、それがいじめ防止につながったりとか、あるいは友達づくりにつながったりだったりとか、そのクラスで頑張るんだというような雰囲気醸成したりとか、そういったようないいところはあるかな、これは実は私の大学でも今年度からチームビルディングセミナーを始めているんですけども、かなり効果があるなというふうに感じている次第です。

大日本図書さん上巻に、「えがおでこんにちは」というマークがあるんですけども、これがクラスのチームビルドを行う上で非常に有効に使えるなというふうに感じました。また、下巻に「春を感じるビンゴ」というのがあるんですけども、これも同じようにクラスのコミュニケーションツールとして活用することができるので、そういったクラスにおけるチームビルドという観点から生活科でこういったようなことを進めていただけると、大変ありがたいなというふうに感じました。

以上です。

**【教育長】**

そのほか何かございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、生活の教科用図書について、意見が分かれておりますので、全員一致ということではございませんので、無記名の投票を行うことといたします。

それでは事務局は、委員に投票用紙を配付お願いいたします。

(投票用紙配付)

**【教育長】**

投票箱の中、ご確認をお願いします。

(投票箱点検)

**【教育長】**

配られた投票用紙に大日本図書か光村図書かということで、こちらの発行者の名前を記名いたしまして、投票お願いいたします。書き終わりましたら伏せて少々お待ちください。

(投票用紙記入)

**【教育長】**

それでは投票をお願いいたします。

(投票・開票)

【教育長】

それでは、投票の結果を発表いたします。

大日本図書が3票、光村図書が2票でございます。

令和6年度、市内の市立小学校において使用する生活の教科用図書として、大日本図書の「たのしいせいかつ」を採択いたします。

それでは、ここで10分間の休憩を取らせていただきます。こちらの時計で3時42分から始めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(休憩)

【教育長】

それでは、再開をいたします。

それでは次に、音楽の審議に移ります。

音楽について説明を願います。

【学校教育部長】

音楽についてご報告いたします。

選定委員会では教育出版の「小学音楽音楽のおくりもの」を選定しました。

調査研究報告書の24ページから25ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された教育出版です。

紙面の見やすさに優れており、美しい写真や挿絵が随所に掲載され、児童がイメージを豊かに膨らませ、表現への意欲、思いや意図を引き出すための配慮がなされています。また、活字の大きさやフォントにメリハリがあり、文字の分量と余白のバランスもよく、児童にとって大変見やすい紙面となっています。

次に、教育芸術社です。

知識、技能、思考力、判断力、表現力等の資質能力に対応させた学習活動が題材ごとに示されています。児童が何を学ぶか、何ができるようになるかの見通しを持って学習に取り組むことができるように配慮されています。

専門調査員との質疑の中では、どちらの教科書も、知識、技能の習得に必要な情報が分かりやすく示されている、伝統音楽を含め、適切な教材を選曲している、教科書の大きさ、重さ、厚さは大差がないなどの報告がありました。一方で、2者の違いとして、紙面の情報量に違いがあり、見やすさに差がある、リコーダーや鍵盤ハーモニカの導入

の場面でのQRコードに違いがある、ドレミの扱い方に差があるという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版は、「学びナビ」や「学び合う音楽」のコーナーを設置することで、学習の見通しを持ったり、対話的な学びのイメージを具体的につかんだりできるよう工夫されていること、活字の大きさやフォントにメリハリがあり、文字の分量と余白のバランスもよく、児童にとって大変見やすい紙面となっていること、鍵盤ハーモニカの導入のページでは、鍵盤ハーモニカが実物の大きさになっており、教科書に指を載せて練習できるのがよいこと、リコーダーの導入のページでは、二次元コードを読み取って、音と指使いを動画で確認することができてよいことなどの意見があり、全員一致で、教育出版の「小学音楽音楽のおくりもの」を本市の小学校の音楽の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

ただいま音楽に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

質問です。

先ほどの報告の中で、教育出版の教科書は、児童にとって見やすい紙面となっているというふうにありましたけれども、具体的には、どのような部分を指しているのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

具体的に申しますと、4年生の「とんび」という歌が載っているページで比較します。教育出版は32ページ、教育芸術社は36ページになります。教育出版は、学習活動が「学びのナビ」という形でシンプルに示され、その代わり歌詞や楽譜が大きく示されております。教育芸術社には「見つける」「歌う」「考える」というスペースがあり、知識、技能、思考力、判断力、表現力等の資質、能力に対応した学習活動が文章で細かく示されていますが、歌詞や楽譜はその分、教育出版と比べると小さくなっております。

**【小島委員】**

子どもが使う観点から見ると、やっぱり大きいほうが見やすい、使いやすい、そういう意味ということですね。わかりました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

私は、選定委員会さんが選定した教育出版がとても見やすいなという印象を持ちました。写真もとてもきれいなものが多かったので、子どもたちが歌詞の内容をイメージしながら、歌うことができるんじゃないかなというふうに感じました。

音楽の教科書を見ていつも思うんですけども、子どもたちの若い年代に沿った歌が入ってくるといいなというふういつも思っております。

以上です。

**【教育長】**

そのほかに。

小島委員。

**【小島委員】**

今のと関連すると、「ルパン三世」とか「君をのせて」とか「さんぽ」とか、何かそういう、比較的最近の曲については教育出版さんのほうが随分取り上げていたような印象があります。保護者も耳になじんでいるものですし、一緒に楽しむという意味ではいいのかなというふうに思いました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

質問なんですけれども、音楽の教科書は理科の教科書と負けず劣らず二次元コードで活用できるというか、本当はあったほうがいい科だと思うんですが、著作権とかいろんなことで難しい部分というのがあると思うんですけども、何か印象としては例えばこの楽器どんな音がするのかとか、初めて見る楽器がたくさんあると思うんですけども、二次元コードが少ない印象があるんですけども、2者の違い、その辺の違いというのはどんな感じなんですか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

教育出版は、まず、リコーダーの新しい音を学習するページの二次元コードを読み取ると、指使いと音を動画で確認することができます。そのほかには、曲を作った作者からのメッセージや小太鼓などの演奏の仕方などの動画もありまして、学習で使用するワークシートが見られるページもあります。

教育芸術社については、歌のメロディーや合奏の曲などが機械の音で再生できるページが多いです。曲の歴史やワークシートなども見ることができ、動画につきましては、タンバリンなどの演奏の仕方を見ることもできます。

**【鳥海委員】**

分かりました。リコーダーをはじめ動画で非常に確かめられる教育出版、いいなというふうに個人的に思います。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

私も、しっかり教科書を見させていただいたんですけれども、特に教育出版さんの4年生、5年生、6年生のところで、いろいろ音楽以外の興味を引きやすいような構成になっているなというところを感じました。例えば、6年生のジャズとクラシック音楽の出会いでガーシュウインのラプソディ・イン・ブルーを取り上げているところとか、あるいは5年生の世界につながっていくようなコンテンツ、こういったようなところで、例えば社会科であったりとか、あるいは世界に対するつながりだったりとかといったようなこと、いろんな方向に児童さんの関心が向くというのが、音楽の本当に大事なことだと思いますし、そういうような指導をうまく先生のほうでしていただけるといいかなというふうに思っています。

どうぞよろしく申し上げます。

**【教育長】**

私からなんですが、教育出版の教科書、ストリートピアノについて載っているところがありました。今、朝倉委員がいろいろなつながりというようなところで、ふなばしミ

ミュージックストリート、これをやっけて、街の中など、音楽にあふれ、芸術にあふれ、そういうようなことを取り組んでいるわけですが、それを普段の生活の中に音楽があるというようなことで、生活の中にすみついていくということが非常に重要なのであるというふうに考えまして、このストリートピアノも似ているところもあります。そういう取上げというのは非常にいいのかなというふうに思います。

そのほか、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、音楽の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した教育出版の「小学音楽音楽のおくりもの」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

#### 【各委員】

異議なし。

#### 【教育長】

異議なしと認めます。

それでは、令和6年度市立小学校において使用する音楽の教科用図書として、教育出版の「音楽のおくりもの」を採択いたします。

続きまして、図画工作について説明をお願いします。

学校教育部長。

#### 【学校教育部長】

図画工作についてご報告いたします。

選定委員会では開隆堂出版の「図画工作」を選定しました。

調査研究報告書の26ページから27ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された開隆堂出版です。

児童にとっても指導者にとっても使いやすく、題材ごとに活動の目当てと学びの過程を明確にして取り組むことができるように工夫されています。紙面の下段に掲載してある二次元コードにより、タブレットを活用して①初めに、②作品、③作品カードと振り返りシートを見ることができ、児童自らが学びの目当てを持った取組と振り返りを行うことができます。また、他教科との関連を持って学習が進められるページには、「あわせて学ぼう」マークと教科名を示し、教科横断的な学習の手だてとしています。

図画工作の目標である3つの学びを学習の目当てに対応させており、題材の中で、特に重点的に育てたい力には、色を変えて強調して示し、主な目標に対応したキャラクターが主体的な学びと学びの深まりを生むための支援を図るものになっています。



次に、日本文教出版です。

3つの学びの柱に対応しており、全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮されています。「学習の進め方」では、教科書を活用し、活動や目当てを確認し、資質、能力の3つの柱が実現できるように工夫されています。さらに、特に大切な目当てや表現のヒント、鑑賞のヒントをそれぞれのマークと共に示すことで、児童が造形的な見方、考え方を働かせながら活動できるように促し、知識や技能の習得・活用を助ける工夫もされています。安全面への配慮については、右ページ下に「気をつけよう」の囲みで具体的に注意を促しています。なお、タブレット端末の活用が有効であると考えられる題材については、タブレットアイコンを示し、その機能を生かしながら活動できるように配慮されています。

専門調査員との質疑の中で、どちらの教科書も子どもたちにとって魅力のある題材を取り上げていて、学習の目当てや道具の使い方などをしつかり記載していることや、タブレット端末の有効な活用や他教科とのつながりについて配慮していますという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、開隆堂は、全ての題材を通して学びの目当てと見通し、振り返りが見やすくレイアウトされ、材料や用具の準備について分かりやすく記載されていること、タブレットを使って子ども自身で目当てや見通しを持つことができ、振り返ることができるように工夫されていること、他教科との関わり方のヒントが明記されていることなどの意見があり、全員一致で開隆堂の「図画工作」を本市の小学校の図画工作教科書として選定することといたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

ただいま、図画工作に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

小学校になると、現在、学級担任以外にも図画工作の専科の方が授業を受け持っているという学校もあると思うんですけれども、現状はどのような配置になっているのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

小学校は、図画工作の専科がいる学校はほとんどない状況にありますので、学級担任が主に授業を行っています。若年層教員も増えている現状がありました。

以上です。

**【教育長】**

小島委員。

**【小島委員】**

そうすると、様々な経験値の指導者がいるということを前提にすると、もちろん子どもたちにとっても見て非常に分かりやすいということと、指導する場合にとっても扱いやすいという意味では、開隆堂さんのほうが学習の流れとかが分かりやすくレイアウトしてあったり、あと保護者にこういう材料が要るので持ってきてくださいとお願いされることもあるんですけども、先生もぱっと上のほうで見ると、あ、これが要るんだなど見やすくなっているのは開隆堂さんかなというふうに思いました。

以上です。

**【教育長】**

それでは、私のほうからなんですが、私も、開隆堂さんの教科書がいいというふうに思っているんですが、全ての題材においてタブレットで確認できるようになっておりまして、どのような学びを展開していくのか、子どもたちが本当に自分なりに理解をしていける、そういうふうなことを感じました。そういう意味では、子どもたちの思考の流れが分かってくるので、教えるほうも使いやすいというふうに感じました。日本文教出版さんのほうは、安全面で注意すべきことが非常に具体的で、そういうところが非常にいいなというふうに感じました。

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

先ほど算数のところでもちょっと申し上げたんですけども、この子どもたちの学びのガイドになるようなキャラクターが使われているというのは、すごくいいなというふうに思っているんですけども、開隆堂さんのほうは、くふうさん、ひらめきさん、ころろさんという図画工作の切り口として重要なところで、ここを注意しようみたいなことが非常に分かりやすく書かれていて、子どもたちにとってもこういうキャラクターと共に、しかも1年生から6年生まで全部同じキャラクターで通して使っていて、そういうところはその学びが進められる工夫としてとてもよいなと感じました。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

**【蓮池委員】**

私も感想ですが、図工の授業においては材料というのは非常に準備に対して大事な部分を占めているんですが、それを分かりやすく示しているのは、若干開隆堂さんのほうが材料集めに関しては親切な書き方をしているかなというふうに感じました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

それでは、図画工作の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定いたしました開隆堂の「図画工作」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する図画工作の教科用図書として、開隆堂の「図画工作」を採択します。

続きまして、家庭についてご説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

家庭についてご報告いたします。

選定委員会では開隆堂の「私たちの家庭科」を選定しました。

調査研究報告書の28ページから29ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された開隆堂でございます。

学習指導要領の対応では、主体的、対話的で深い学びに向かうために、各題材の導入部分に「なぜ」と問う学習から始まることで、生活の役割への気づきに意識を向けさせ、課題に取り組むことができるようになっております。さらに、生活に関わる見方、考え方が題材の最初のページに掲載され、学習の目当てと一緒に示されることで、より見通

しを持つことができます。大きさをA B判からA 4判に変更したことで、実習や製作の説明が見開きページを活用し横流れの見やすいレイアウトになりました。

次に、東京書籍でございます。

学習指導要領の目標に照らし、題材ごとに日常生活に生かせるような構成でまとめられており、持続可能な社会の実現に向けての視点や実践的な態度が育てられるように配慮されています。導入部分では、自分の生活の中から課題を見つけ、学習の見通しを立てることで、目的を持って学習に取り組むことができます。特徴としましては、防災教育についてどの題材でも触れられており、日々の備えに関する資料が充実しています。

専門調査員との質疑の中で、船橋市として使いやすさの点からすると、開隆堂は、被服製作の学習時期が年間計画の中盤に位置づけられているので、毎年行われる船橋市の作品展までに作品を完成させることができる。その点で開隆堂の私たちの家庭科は配列を変えずに使えるので、特に初若年層職員にとっては使いやすい教科書であるといった報告がありました。また、包丁の扱い時期や米を炊くときの火加減についても細かな例を挙げての説明がありました。

専門員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、開隆堂は、各題材の導入の部分で、学習の目当てが分かりやすく示されていること、実習や製作の説明が見開きページを活用し横流れの見やすいレイアウトになっていること、配列が、船橋市の実態に即していることなどの意見があり、全員一致で、開隆堂の「わたしたちの家庭科」を本市の小学校の家庭科教科書として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいま家庭科に関しまして説明がありましたが、何かご意見、質問はございますでしょうか。

小島委員。

#### 【小島委員】

家庭科についての専科の先生がいる学校もあるかと思うんですけども、基本的には、やはり先ほどみたいに担任の先生が教えているということのほうが多いでしょうか。

#### 【教育長】

指導課指導主事。

#### 【指導主事】

担任の先生が教えることのほうが多いです。また、専科といっても初めて家庭科を教える先生が多いので、初心者先生でも教えやすい教科書が望ましいです。

以上でございます。

**【小島委員】**

逆にそういう初心者の方も実はいるという話でございます。

あと、お米の炊き方のところについて両者を比べてみたんですけども、ちょっと東京書籍さんは遅れて、かつては火で炊くということを、日々の備えとして電気やガスが止まってもできるんだよという、そういう例示の仕方はとてもすごくいいとは思いつつも、ちょっと中身を見ると、なかなかその火の耐久の時間とか、ちょっとこのとおりにやったら恐らく焦げてしまうんじゃないかなというようなやり方が書いてあったりすると、ちょっと教科書を見てやったらそのとおりにできないという事態が生じかねない怖さが、慣れている人が確実に家庭科を教えるとは限らないということを見ると、やっぱりちょっと開隆堂さんのほうが適切なのかなというふうに思いました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

質問なんですけれども、昔の家庭科というと、結構そこそのボリュームがあって、知りたいことや生活に必要なことがしっかり入っているんだけど、教科書の使い方というと、最初から最後まで順番にというんじゃなく、参考書的な使い方だったりとか、あるいはこういった辞書的な使い方みたいな、そういったイメージを持っているんですが、今はもう授業の進行ベースで使われている、そういう認識でよろしいのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

やはり若い先生が増えているので情報量が多いとどの資料を使うことが子どもにとってよいものなのかを取捨選択をするのが難しくなります。教科書がベースで授業を行えるほうが望ましいです。

以上でございます。

**【教育長】**

私のほうからなんですけど、どちらの教科書も学習の流れが把握しやすいように工夫されているなというふうに思いますが、子どもたちが主体的に気づきから学習につながる、

そういう観点から、構成に開隆堂の教科書のほうが導入に工夫が見られる、そういうふうに感じています。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

どちらの教科書も、食育ですとか、消費者教育ですとか、環境教育ですとか、SDGsといったようなことを全体的な課題について取り上げていただいているので、また資料も非常に豊富なので、両方ともいいなというふうに思ったんですけども、特に開隆堂さんのほうは見出しのつけ方が食生活とか、分野ごとになっていて、家庭とか、衣食住、生活とか、これは実際、おうちでも使いやすいかなというふうに感じましたので、開隆堂さんのほうが優れているかなと思いました。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、家庭の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した開隆堂の「わたしたちの家庭科」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する家庭の教科用図書として、開隆堂の「わたしたちの家庭科」を採択いたします。

続きまして、保健について説明をお願いします。

学校教育部長。

**【学校教育部長】**

保健についてご報告いたします。

選定委員会では、東京書籍の「新しい保健」を選定いたしました。

調査研究報告書の30ページから33ページでございます。

それでは、各者の教科用図書についての特色をご報告いたします。

まず、選定されました東京書籍です。

各単元4ページの構成になっています。単元のはじめには、目標が明記してあるため、学習のゴールを児童と教師が共有することができ、見通しを持って学習しやすい教科書であることや単元の構成は「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップでつくられており、「深める・伝える」の活動では、対話的な活動を通して、主体的、対話的で深い学びを実生活に生かせるようにつくられています。

次に、大修館書店です。

単元の初めにA4片側1ページを使用して、その単元に関係性のあるスポーツ選手や著名人等、児童の身近にあるものを取り上げ、児童の興味を引き出す工夫がされています。また、課題をつかみやすく対話的な活動を通して考えを深めやすくなっています。

次に、大日本図書です。

身近な題材から課題を把握し、主体的に解決に取り組み、対話的な活動を通して知識、技能を習得し思考を深める活動がしやすいような工夫がされています。各ページに二次元コードが記載されているので、個々のペースで学習を進めることができます。

次に、光文書院です。

教科書の単元を「見つける」「知る」「生かす」の3つの要素で構成されています。

教科書にデジタルマークと二次元コードを配置し、情報活用の工夫が見られます。導入で自分の健康課題に気づき、展開で知識や技能を習得し、まとめでは習得した知識や技能を自分のこれからよくする方法について考えられるように構成されており、課題解決学習を促す工夫がされています。

次に、学研です。

課題に対して子どもたちが記入できるスペースを広く取ってあります。また、自分の日常生活での行動を振り返り、学習した内容を家庭や地域で確かめたり、調べたりすることができるように工夫がされています。

最後に、文教社です。

大きな特色として、中国、四国地方に特化している教科書です。資料も中国、四国地方が中心となっていて、全てにおいて独特なつくりになっています。

さらに専門調査委員との質疑の中では、6者全てにおいて主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開や、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動の工夫、1人1台端末のICT環境を活用した学習活動への配慮と、活字の大きさや写真、図表などの印刷の鮮明さ、製本、ユニバーサルデザインフォントも6者ともできていると報告を受けています。

専門調査委員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、全ての単元に

において学習の進め方が4つのステップで統一し、学習の流れが明確にされており、児童が見通しを持ち学習を進めやすい工夫がなされていること、イラストも豊富で情報も多く配置されていることから、児童の思考する場面を多く設定することが可能と言えることなどの意見が出され、全員一致で東京書籍の「新しい保健」を本市の保健の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

ただいま、保健に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

ほかの教科ではできないこととして、保健の中でLGBTや自分らしさという部分で、小学校3年生あたりからだんだんそういうところに踏み込んでいくことがあるかと思うんですけども、教科書の扱いとしてはどのようになっているのか。扱っている教科書はあるのか、それも含めて教えてください。

**【教育長】**

保健体育課指導主事。

**【指導主事】**

各者とも、3、4年生の教科書の中で、発展的な学習として個人差、性と自分らしさ、LGBTなど、表現の違いはありますが取り扱っております。

以上でございます。

**【教育長】**

小島委員。

**【小島委員】**

ちょっと見た限り、各者によってちょっと切り口が違う部分もあるのかなというふうに見た中で、東京書籍の書き方が、普通に体の性、心の性、好きになる性、表にしたり、もう小学生3年生でもこのくらいの内容で分かるだろうというような平易な表現で、それは自分らしさという、こういうすごい分かりやすいシンプルなまとめ方をされているという、そういう配慮はいいかなというふうに思いました。



**【教育長】**

それでは、私のほうからなんですけど、保健の教科書を読んでいると、非常に内容も充実していると感じます。ただ、イメージとしてはページ数が大分多いなというイメージもあるんですが、大体保健の授業、非常に基本的な質問で申し訳ないですが、年間何時間やって、この内容を終わるといふか、というようなことはいかがでしょうか。

**【教育長】**

保健体育課指導主事。

**【指導主事】**

学習指導要領では、保健領域の年間授業時数を、第3学年及び第4年では8時間程度、第5学年及び第6学年では、16時間程度とすることと記載があります。保健の教科書は内容が充実しておりますが、この時間内で学習が進められるように各者、工夫した構成になっていると言えます。

以上でございます。

**【教育長】**

ありがとうございます。

分かりました。6年生の時間数が思っていたよりも多いなということをおもいましたら、4つのステップで単元の学習を進められる東京書籍の教科書、非常に効率よく進められるのかなというふうに感じました。

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

小学生の保健科で扱う内容というのは、他の科、理科等と、そういったところと関連します。そういった内容がすごく多いと思うんですけども、ほかの学科では面白くなかったけれども、そういう意味なのかみたいな気づき、結構あるのかなと思うんですが、その辺の工夫というのはどうですか。

**【教育長】**

保健体育課指導主事。

**【指導主事】**

各者とも、他教科と他学年との関わりをマークで記載しており、教科等横断的な視点で学習しやすい工夫がされています。

以上でございます。

**【教育長】**

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

本当に同じ学年のみならず上の学年のことにちょっと向けたりとか、同じことを成長の過程で、何かちょっと角度を変えている。成長して見つめなおせる、そういう感覚がありますし、そういったことで興味とかが非常に高まる、そういった説明になっているかなとおもいます。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

拝見して、どの教科書も非常に身近な題材等を取り上げていただいている、児童の関心を引きやすい構成になっているなどというふうに感じました。

ちょっと教科書によって多少は違いがあるんですけども、イラストとか写真を学年の発達段階に応じた内容になっていて、いずれの教科書も、本当に今どきの教科書はよくできているんだなと大変感心しました。

以上です。

**【教育長】**

分かりました。

そのほかいかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、保健の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新しい保健」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する保健の教科用図書として、東京書籍の「新しい保健」を採択いたします。

続きまして、英語について説明をお願いします。

学校教育部長。

#### 【学校教育部長】

英語についてご報告いたします。

選定委員会では東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」が選定されました。

調査報告書の34ページから37ページでございます。

それでは、ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

「世界のことをもっと知りたい。もっと英語で思いを伝えたい」をキーフレーズに、意欲にあふれる児童の育成がコンセプトになっています。続きが知りたくなる魅力的なストーリーが、音声とアニメーション映像の2パターンで用意されています。興味を引くようなトピックを精選し、6年生では、絶滅危惧種のボルネオゾウ、ウガンダの水くみの様子などSDGsを視野に入れた活動が多く取り扱われています。スモールステップで単元が構成され、「Your Plan」という箇所を活用して、自分が言いたいことを書き込む十分なスペースがあるのが特徴です。これにより、目的、場面、状況を整理して学習活動を進め、確かな定着が図られるようになっています。

次に、開隆堂です。

自他を尊重する態度の育成、伝え合う喜びを味わえるようにすること」を編集の基本方針としています。音声で慣れ親しんだ英語と文字を結びつけることを重視し、イラストや写真をふんだんに使って、国際的な視野と地域的な視野を備えた教材となっています。ユニバーサルデザイン、SDGsやキャリアへの対応、さらには中学校とのつながりを踏まえた語句の精選もなされています。別冊で英語絵辞典「Word book」がついています。

次に、三省堂です。

「確かな力、楽しい学び、豊かな心」をコンセプトに編集されています。見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう、HOP、STEP、JUMPを一つのユニットとして単元が構成されます。様々な活動の中で文字についてクイズ形式で楽しむことができます。読み教材は、「北風と太陽」「ガリバー旅行記」などのよく知っている話が使われているので親しみやすくなっています。他教科での学びを生かす活動も用意され、社会科や理科のほか、プログラミングとの関連も図られています。今回より別冊絵辞典、「My dictionary」が加わりました。

次に、教育出版です。

「思いを伝え合う言語活動で子どもたちの笑顔をつくる」をコンセプトに編集されています。学習を通して、言葉の大切さ、人との関わり、伝え合い、表現することの大切さや楽しさを体験させるために、ICTを活用した様々な言語活動が設定されています。冒頭には、学びの見通しが立てやすいロードマップがあり、各レッスン後には振り返りを共有できるようになっています。巻末には、「My Word Bank」という辞書やワークシートがついています。また、年度末に作成する「My Book」は、子どもたちが楽しみながら1年間の学びを振り返ることができます。

次に、光村図書です。

「言葉を通して伝え合う楽しさを知り、互いの違いを大切にできるように」をコンセプトとして編集されています。ユニット数を前回の9つから8つにスリム化し、各ユニットは7時間で統一されています。ユニットはHop、Step 1、2、Jumpの順に見開きで進み、ゴールまでの流れが見えるユニット構成が特徴です。各ユニットの冒頭に全7時間の流れを示したページが設けられ、見通しが立てやすくなっています。5つの領域、聞く、読む、やり取りとしての話す、発表としての話す、書くの到達目標をCan-Doリストにして、4段階で自己評価をつけながら身につけた力を確認していきます。子どもにとっては、学習の目標が明確となり、教員にとっては指導と評価の計画の指標となります。

最後に、啓林館です。

多様化する社会において、人々と協働し持続可能な社会の担い手になる児童に必要な資質・能力を培うという観点から編集されています。具体的には、知識、技能の確かな習得、考える力を育む、多様な文化や他者の尊重となっています。各学年1つのPre-Unit、8つのUnit、3つのReviewで構成されています。ゴールを明示して学びの見通しを持てるようにし、イラストから人物を探すなどの活動で楽しみながら学べるようになっている点が特徴です。たくさんの考える場面を設定し、他者との対話を通してお互いの気づきを共有していきます。振り返りでは、広い書き込みスペースがあります。また、世界の言語に触れることで異文化理解を促しています。

専門調査委員との質疑の中で、英語の授業準備の観点から、教科書に書き込みスペースが多くある東京書籍は指導しやすい工夫がされているということが挙げられました。他者にも同様の活動はありますが、「NEW HORIZON Elementary」のみコメント欄があり、児童ができたことや課題意識などの児童自身の思いを書き入れることができ、主体的、対話的で深い学びにつながっていくという報告がありました。また、初若年層教員だけでなく、英語に苦手意識を持った担任にも、学習内容が同じサイクルで進む東京書籍と光村図書は事前の打ち合わせがスムーズに行うことができるということでした。

専門調査委員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、単語を調べる際に、辞書が別冊になっているので、書く活動に適していること、別冊の中にアンデル

セン公園が出ているので、子どもたちは身近に感じられること、教員にとっても、児童にとっても扱いやすいことなどの意見があり、全員一致で、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」を本市の小学校の英語教科書として選定いたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

ただいま英語に関して説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますでしょうか。  
鳥海委員。

**【鳥海委員】**

まず、基本的なご質問なんですけれども、船橋市は全部の小学校が教育課程特例校の指定を受けていますので、小学校1年生から英語の教育も既に力を入れてやっているんですけれども、ここ数年の小学校の英語教育に関しての実態というのはどういうものでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

小学校1、2年生は週に1回、20分の英語科の授業を行い、ALTとの会話もスムーズに行っていますが、ここ数年は、授業前のALTとの打合せ時間を十分に取れないということが課題となっています。その点から見ると、授業計画が立てやすい教科書が実態に合っていると考えます。

**【鳥海委員】**

ありがとうございます。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。  
蓮池委員。

**【蓮池委員】**

現状、船橋市若年層教員が大変増えている現状ではありますので、授業計画が立てやすいというのはとても、その中で助けになると思います。その点では、現在使用している東京書籍が問題がなければ、継続して使うほうがよいように私は感じました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

1点質問なんですけれども、単語帳が別冊になっているものと、巻末についているものがありますけれども、実際単語帳というのは英語ではどのように活用されているのでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

単語帳の活用に関しましては、子どもの習熟度によって活用頻度が異なることや、ICTの活用状況によって差がありますが、書く活動で使用されることが多いように感じます。別冊になっていると、教科書を開いたまま調べることができるので、その点が利点になっています。

**【教育長】**

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

今のでなるほどなと思いました。ありがとうございます。

ちょっと1点なんですけれども、その教科書も差はあるんですけれども日本語と英語の、結構表記が、両方表記されているような格好になっているんですが、実は英語の学習というのは、初めてであるほど英語脳に切り替えるみたいなことがすごく重要で、教科書は付属のほうに日本語が書いてあってもいいんですけども、教科書そのものは英語だけとか、あるいは、できるだけ先生方も本当に教えるのが難しいのは分かるんですけども、その時間は日本語をなるべく使わないとかというようなやり方というのが、すごく重要なのかなというふうに感じています。

その中では、啓林館さんの「Blue Sky Elementary」というのが、非常に日本語に頼らない、日本語をちょっとセットバックしたような形で、英語の世界に入っていけるように感じたのでいいかなというふうに思いました。

もう一つなんですけれども、デジタル教材の音声ですが、実際、英語というのは、日本人がしゃべるものとか、ネイティブがしゃべるものとか、あるいはノンネイティブの

外国人がしゃべるものとかいろいろあるんだと思うんですけども、デジタル教材の音声はどのような形になっているか教えてください。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

ほかの教科書と比べますと、啓林館は世界中の英語をより多く聞くことができ、自然に異文化理解へとつながっています。

**【朝倉委員】**

ありがとうございます。

**【教育長】**

私のほうからなんですが、今、朝倉委員からもありました世界の英語というのですか、いろんな地域の英語、それから、私ボストンに行ったことがありまして、そのときにボストンにある2つの大学の大学院生と話をしたことがありまして、大学院の中でも様々な英語があります。いろいろな言葉、地域地域で話す言葉があって、それが乱れ飛んでいるんですというような話で、そのときに、だから日本人は日本の英語を話してもいいんですよというようなお話があったんですけども、様々な土地というか、そういう英語を聞けるというのは、海外に行って役に立つとか、違和感なく過ごせるんだろうなというふうに思います。それから、東京書籍の別冊5ページには、アンデルセン公園の写真がありまして、そういう意味で地域の場所、そういうところが出ているということについては、非常に身近に感じますし、愛着が湧いてくるのかなというふうに思います。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

私も様々な国の英語を聞けるというのは、今後グローバルな人材育成に、そういうところにもつながっていくのはいいことだとは思いますが。ただ実際の活動というのは聞く活動だけでなく、書く活動というのもやっぱり重要なのかなというところは出てくるかと思しますので、そういう意味では東京書籍さんと啓林館さんもある意味工夫が見られて、中学校への接続という意味でも活用していけるのかなというふうに感じました。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。  
よろしいですか。  
それでは、英語の教科用図書について採決していきたいと思えます。  
啓林館と東京書籍を推す意見がそれぞれございました。  
全員一致ではございませんので、無記名の投票を行うことといたします。  
では、事務局、投票用紙の配付をお願いいたします。  
先ほどと同じように、配られた投票用紙に、啓林館か東京書籍ということで、発行者名を記名して投票をお願いします。

(投票用紙記入)

**【教育長】**

よろしいでしょうか。それでは投票のほうをお願いします。

(投票・開票)

**【教育長】**

それでは、投票の結果を発表いたします。  
啓林館が2票、東京書籍が3票です。  
したがって、令和6年度市立小学校において使用する英語の教科用図書として、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」を採択いたします。  
続きまして、道徳について説明をお願いします。  
学校教育部長。

**【学校教育部長】**

道徳についてご報告いたします。  
選定委員会では東京書籍の「新編新しい道徳」を選定いたしました。  
調査研究報告書の39ページから41ページでございます。  
それでは、ご報告いたします。  
まず、選定された東京書籍です。  
主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、全ての学年に、問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材が掲載されています。教材の一部が入れ替わったものもあり、学習効果を高めるように検討されています。特徴的なのがいじめ、生命、情報モラル等の現代的諸課題を集中的に取り組めるように、ユニット、まとまりが全学年に設定されていることです。写真、挿絵、図表の資料も色彩豊かで理解を助け、想像を膨らますよう配慮されています。また、全ての教材で二次元コードから朗



読教材、紙芝居、ワークシート等を活用、視聴することができます。様々なのちに関わり、その豊かさ、すばらしさを感じる本県、本市の教育施策と合致しています。

次に、光村図書です。

教材末に授業の展開がイメージできる「かんがえよう・はなしあおう」「つなげよう」という手引がついています。コラムの内容は共生、いじめ、情報モラル、環境等の現代的諸課題について取り上げており、授業と関連づけることで、より考えを深められるよう工夫されています。自然と共に生き、自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うよう配慮されていることが本県、本市の教育施策と合致しています。また、児童にとって身近な題材や偉人、現在活躍する人物の幼少期を扱う教材等、児童の心を捉える教材が配置されています。優しい色使いで色覚にも配慮されています。

次に、光文書院です。

他教科での学習や特別活動、行事等との関連を図った教材や発展での活動が計画されているので、学校では道徳科の授業を道徳教育へと広げていくことが可能となります。情報モラル、健康、環境教育、キャリア教育、他者との共生等の現代的諸課題とつながる教材も全学年に配置されています。郷土愛に関しては、本県、本市に関連した地域の伝統文化、先人の業績等を扱った教材が取り上げられています。また、補充的、発展的な学習ができるように、思考ツールや教材付随のコラム、二次元コード等を活用することができます。いじめ防止、生命の尊重が重点テーマとなっており、本県、本市の教育施策と合致しています。

次に、教育出版です。

「学習のてびき」の中で、考え、議論することを促す問いや、議論に導きやすくするための流れが示されています。また、道徳性を育てるスキルトレーニングや役割演技等の体験的な学習を取り入れた教材により、自分事として考え、理解を深める工夫がされています。他教科、特別活動とつなげて考えたり、発展的な学習を取り入れたり、現代的諸課題に関連した教材が配置されたりしています。自己の生き方についての考えを深めることで、道徳性の育成を目指しており、本県、本市の教育施策と合致しています。高学年では、人物教材を多く取り入れることで将来を見据えた道徳性の育成を目指していると思われます。

次に、学研です。

複数教材で学ぶ重点テーマが設定され、特設ページを設けることや主体的に考え議論できる教材を取り入れ、児童の考えを深めるよう工夫されています。児童の問題意識を大切にできるように主題名を明記しない工夫がされているのも特徴です。生命の尊重を重点テーマとした異なる内容項目を組み合わせた教材があることから、本県、本市の教育施策と合致しています。写真や挿絵が、視覚的に捉えやすくなっており、また、全学年に同じキャラクターが登場し、自らの成長と重ねながら考えられるよう工夫され

ているのも面白い視点です。

最後に、日本文教出版です。

子どもたちの思考を深めるための手だてが参考例として提示されており、別冊「道徳ノート」がついています。教科等横断的な視点に基づき、他教科等の学習活動そのものを素材とした教材を扱っています。いじめ防止を重要テーマとして工夫が施されており、自己の生き方や生命を尊重することについてより深く学べるよう配慮されていることが、本県、本市の教育施策と合致しています。全国各地の魅力的な素材が教材化され、地域の特色を生かした教材も扱っています。補充的、発展的に学習ができるよう別冊を併用し、二次元コードから画像や動画などの閲覧ができるよう工夫がされています。

専門調査員との質疑の中で、児童が身近に感じられる教材が必要であること、児童が思考を深める工夫があること、教員にとって教えやすいことが重要であるという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、扱いにくいとされた教材を入れ替え、教員が扱いやすくなっていること、今までの教材研究を基に、授業改善を進められること、定番教材を含め、バランスの良い教材配置であること、思考ツールや心情円、また、全ての教材で二次元コードを活用できることなどの意見があり、全員一致で、東京書籍の「新編新しい道徳」を本市の小学校の特別の教科道徳の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

#### 【教育長】

ただいま「特別の教科道徳」に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問等がございますでしょうか。

蓮池委員。

#### 【蓮池委員】

各者いろんな工夫が見られて、巻末のほうにそれぞれ付録がついてきているんですけども、何か特徴的なものはありますか。

#### 【教育長】

指導課指導主事。

#### 【指導主事】

東京書籍は、全学年考えるためのツールの紹介と4年生以上は切り取って使う心情円がついています。また、日本文教出版以外は学習の記録や振り返りができる工夫があります。日本文教出版は、別冊のノートがついています。光村図書は、4年生まではシー

ルを貼って振り返りを促すようにしています。

以上でございます。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

東京書籍が学年ごとにキャッチフレーズが掲げられている、そういった工夫が見られますけれども、発達段階を意識した学びにするための工夫というのはありますでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者、学年が上がるごとに成長を感じられるような絵や写真を使用しています。東京書籍は、表紙に道徳の学習で育まれる、様々な心の力を描いています。発達段階に応じて、今どんな心の力を伸ばしていくかを意識することができます。光文書院は、子どもたちの日常の中の豊かな心で未来にはばたく瞬間を表紙で表しています。裏表紙の3コマからストーリーがつながっています。

以上でございます。

**【教育長】**

それでは私のほうからなのですが、道徳教育というのは、学校教育活動の総体ということでは言われているわけですが、授業は非常に重要であるということはもちろんのことでございます。

やっぱり本当に重要だなと思って、現代的な諸課題が随分出てきているんじゃないかなと思うんですが、現代的な諸課題の扱いという側面からどうでしょうか。

**【教育長】**

指導課指導主事。

**【指導主事】**

各者、様々な現代的な課題について、幅広く考えられるよう教材を配置しています。特に、情報モラルやいじめの問題、人権に関する問題については工夫しています。東京

書籍は、ユニット、まとまりで深く考えられるよう配置されているのが特徴的です。光文書院は、へこんでも立ち直る力、レジリエンスを扱っております。

以上でございます。

**【教育長】**

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

東京書籍さんが法律について、「法律って何だろう」という題材がありまして、そこでいじめ防止対策推進法についても触れられているんですけども、そもそも法律とマナーというのはどう違うんだろう、守らないとどうなるんだろう、じゃ、逆にまたいじめという観点で、法律というのはこういうふうになっているけれども、なぜそういうふうになっているのか、そういうものをとても丁寧に取り上げられているなというふうに感じました。そしてそれは6年生の題材になっているんですけども、そういう6年生という年齢等も考えますと、今こういう法律というところを照らして、道徳というものと、併せて考えるという非常に意義深いものを感じています。とてもいい題材を扱っているなと思っています。

**【教育長】**

そのほかありますか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

道徳はどの教科書もほかの科目に比べて最初巻頭のところに道徳への導入とか、それぞれ学ぶことの位置づけとか、方法論がしっかり述べられていて、すごくそれが特徴的なのかなというふうに思いました。ただ、その中でも特に今回選ばれている東京書籍さんは、ほかの項目とのつながりが非常に分かりやすくなっていて、先ほど小島委員さんからもお話がありましたが、さらに項目間のつながりというのも分かりやすくなっているというふうな工夫がなされていて、ぜひ、こういうところも活用して授業を進めていただきたいと思いますし、こういったまとめ方はとても秀逸だなというふうに感じました。

以上です。

**【教育長】**

ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。。

よろしいでしょうか。

それでは、特別の教科道徳の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新しい道徳」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

#### 【各委員】

異議なし。

#### 【教育長】

異議なしと認めます。

令和6年度市立小学校において使用する道徳の教科用図書として、東京書籍の「新しい道徳」を採択します。

続きまして、特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書の審議に入りますので、説明をお願いいたします。

学校教育部長。

#### 【学校教育部長】

特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書附則9条図書の選定結果について報告します。

まず、特別支援学校、特別支援学級の教科用図書につきまして説明させていただきます。

特別支援学校及び特別支援学級では、3種類の教科書から、児童・生徒一人一人の実態に合わせて選定できることとなっております。①文部科学省の検定済教科書、②文部科学省著作の特別支援学校用教科書いわゆる星本、③学校教育法附則9条の規定による一般図書です。

今回、選定委員会では、学校教育法附則9条の規定による一般図書4冊を選定しました。

令和6年度使用教科用図書調査研究報告書の42ページ以降に詳細な報告を掲載してあります。

専門調査員の報告、質疑の中から、4冊それぞれの特徴についてご報告させていただきます。

まず、1冊目は、生活、社会の「どうなっているの?からだのなか」です。

仕掛けのある絵本になっており、仕掛けを開くと人間の体の内部の様子が分かり、子どもたちの興味、関心を引きやすくなっています。テーマごとに見開きで内容がまとめ

られ、興味のある場所から学習することができます。知的欲求を満たすことのできる内容になっているという意見がありました。

2冊目は、職業、家庭の「学校では教えてくれない大切なこと⑨ルールとマナー」です。

これは、日常生活の中で実際によくあるエピソードを取り上げながら、社会生活を送るために必要なルールやマナーについて学ぶことができます。親しみやすいキャラクターが登場したり、漫画形式になっていたりして、興味を持ちやすい工夫がされています。配列ごとに学習することもできますが、子どもの様子に応じて部分的に取り上げて学習したり、日常生活の場面で必要に応じて活用したりすることができると思われます。

3冊目は、外国語の「わくわく音あそびえほんえいごにほんごおうたえほん」です。

よく耳にする曲を取り上げており、自分で操作して音楽が流れる仕組みは、子どもたちが楽しみながら学習できるものとなっています。同じ曲で、日本語と英語があるので、メロディーを聞きながら、英語に親しみを持つことが期待されます。

4冊目は、外国語の「わくわく音あそびえほん新装版にほんご・えいごおしゃべりタブレットえほん」です。

これは、音声が出るので楽しみながら日本語と英語の文字や単語などを学ぶことができる絵本です。録音や再生、しりとり、クイズ機能などがあり、子どもの興味、関心を引きやすく、遊び感覚で学習することができます。平仮名やアルファベットの学習だけでなく、単語の学習にもつなげることができます。また、身近な数や色、挨拶などを日本語と英語で学ぶことも可能となっております。

以上の理由により、4冊全てが推薦するにふさわしいと考え選定したところでございます。なお、本冊8から10ページ別表3の一般図書は、昨年度に採択済みのもので、これに12ページの別表5の4冊を加えて、合計137冊となります。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

#### 【教育長】

ただいま、特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書について説明がありましたが、何かご意見、ご質問がございますでしょうか。

蓮池委員。

#### 【蓮池委員】

附則9条図書の4冊につきまして、想定されている学年をご説明をしていただければと思います。よろしく願いいたします。

#### 【教育長】

教育支援室長。

**【教育支援室長】**

「どうなっているの?からだのなか」と「ルールとマナー」については、特別支援学級の小学校高学年から中学生が対象と想定しております。「わくわく音あそびえほん」の2冊については、特別支援学級の小学校低学年、特別支援学校の小学部が対象になると考えています。

特別支援学級、特別支援学校に在籍する児童・生徒の障害の程度が多様化しており、様々な形態の本が有効活用できると考えます。

以上です。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

特別支援教育、本当に難しいと思うんですけども、今、紹介いただいた「どうなっているの?からだのなか」「ルールとマナー」というのを加えて本当にいいことだと思うんですけども、ただ経験の少ない先生方多いと思うんですけども、本当に難しい中、教員が教えやすい工夫というのはありますでしょうか。

**【教育長】**

教育支援室長。

**【教育支援室長】**

視覚的にも聴覚的にも分かりやすい教材になっており、指導しやすくなっております。また、どの本も配列にこだわらず、児童・生徒の興味関心に合わせて進めることができますので、個に応じた指導がしやすく、経験の浅い教員でも扱いやすいものと思われま

**【教育長】**

そのほかありますかでしょうか。

朝倉委員。

**【朝倉委員】**

先ほどのご説明の中で児童・生徒一人一人の実態に合わせてご指導いただけるということで、一人一人異なる教科書を使うこともあるというお話でしたが、実際異なる教科

書を使って授業はどのように進めておられるのでしょうか。

**【教育長】**

教育支援室長。

**【教育支援室長】**

授業の進め方につきましては、個別に学習を進める時間と、少人数のグループで行う時間がございます。

今回選定された4冊は仕掛けがあったり、クイズがあったりなど、児童・生徒の学ぶ意欲や気持ちを引き出す工夫が随所に見られ、個別の学習を進めるに当たっては大変有効です。

「わくわく音あそびえほん」の2冊については、タブレット型端末より操作が簡単で、障害の重い子どもも扱いやすいものとなっております。また「ルールとマナー」については、提示方法の工夫をすることで、グループ学習の場面で、話し合い活動などに広げることができるものとなっております。

以上です。

**【朝倉委員】**

ありがとうございます。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

**【小島委員】**

さっき意欲を引き出すというのがどの場面でも大事なんじゃないかと思うんですが、今回選定された4冊は、児童・生徒にとって興味深い題材設定という面で、何か工夫されている部分はあるのでしょうか。

**【教育長】**

教育支援室長。

**【教育支援室長】**

「どうなっているの?からだのなか」や「ルールとマナー」については、自分の体や生活と関連づけて学習できる内容であり、児童・生徒にとって興味深い題材設定となっております。「わくわく音あそびえほん」については、なじみのある曲を使用し、英語



だけでなく日本語でも学習できるので、興味を持ちやすいものとなっております。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書について採択をしたいと思えます。

本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

令和6年度、市立特別支援学校及び小・中・特別支援学級において使用する教科用図書として、本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を採択いたします。

以上により、議案第31号「令和6年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について」はそれぞれの教科用図書について採択を終了し、可決されました。

続きまして、議案第32号について、指導課、説明願います。

指導課長。

**【指導課長】**

議案第32号「令和6年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」ご説明いたします。

令和6年度に船橋市立船橋高等学校で使用する教科用図書を採択するに当たり、船橋市教育委員会組織規則第3条第15号及び船橋市立高等学校管理規則第15条の規定に基づき、議決を得る必要があるため、本議案を提出いたします。

内容につきましては、この後、船橋市立船橋高等学校教科用図書選定委員副委員長の市立船橋高等学校教頭から説明いたしますので、ご審議のほどよろしく願います。

**【教育長】**

それでは、選定結果につきまして、市立船橋高等学校教頭、説明願います。

市立船橋高等学校教頭。

**【市立船橋高等学校教頭】**

本日選定委員長である校長が欠席のため、副委員長である教頭が代わりにご報告いたします。

それでは、船橋市立船橋高等学校使用教科用図書を選定につきまして概要をご説明いたします。

本校は普通科、商業科、体育科の3学科を有し、さらに普通科では文系、理系、α類型、国際教養の4コースの教育課程を設定し、きめ細かい指導を行っています。61冊という数の教科書になっております。

本日までの選定の経過について申し上げます。

まず、5月に、教科主任を中心とした教科書研究会を開くよう依頼しました。今回は、令和4年に高等学校学習指導要領が改訂されたことに伴い、その学習指導要領に基づいた教科書を選定いたしました。

教科書研究会においては、学習指導要領に示されている知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性の3つの柱をバランスよく総合的に育むことを目指した教科書を選定しています。令和4年度より学年進行にて実施しておりました新教育課程も来年の令和6年度より全学年が対象となるため、21冊変更、6冊科目新設を予定しております。

各教科で、数回の教科書研究会を実施した後、6月9日に保護者代表2名を含めた第2回教科書選定委員会を開催し、選定趣旨の説明を行い、了承を得たことから、来年度は資料のと通りの教科書を選定することといたしました。

**【教育長】**

ただいま、船橋市立船橋高等学校使用教科用図書について説明がございましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

初めに私のほうから質問をいたします。

学習指導要領の改訂で、昨年度は年次進行で実施されているため、来年で全ての学年で新しい学習指導要領が全面実施されるということになります。その中で、特に探究的な学習の重要性がうたわれていることになりますが、市立船橋高校の探求学習かなり力を入れているというふう認識しているんですが、教科書を選定において、どのように考えておられるかということをお伺いしたいと思います。

**【教育長】**

市立船橋高等学校教頭。

**【市立船橋高等学校教頭】**

探求的な学習につきましては、アクティブラーニングの視点を考えまして、自ら考え、学び、答えを導き出すということを前提に考えておりまして、例えば、地歴公民科においては、学習項目ごとに生徒が主体的に学べるような学習課題が設定されていること、情報の収集のための図版や資料が多分に掲載されていること、情報を整理、分析するために必要な用語の説明や判例が詳細に記されている、二次元コードによる教科書内容の理解の補助、自学自習をサポートするデジタルコンテンツの充実、ICT機器の活用も念頭に置いて教科書を選定しております。

**【教育長】**

そうしますと、各教科で同じようなそういう探求することを念頭に置いているという理解でよろしいでしょうか。

**【市立船橋高等学校教頭】**

はい、そのとおりです。

**【教育長】**

ありがとうございます。

そのほかありますでしょうか。

鳥海委員。

**【鳥海委員】**

例えば公共と政治・経済のようにお互いに関係のある科目で、出版社が違う、変えているという科がありますけれども、学習の流れと理解とか、そういったことを考えたときに、科目によって出版社をどのように、関連があるのかを見て、変えないほうがいいのかなどというふうに思うんですけれども、いかがでしょうか。

**【教育長】**

市立船橋高等学校教頭。

**【市立船橋高等学校教頭】**

政治・経済の教科書選定においては、第一に内容の程度が本校生徒の学力の実態に合っていることが挙げられています。また、学習内容ごとに探究学習が配置され、ウェブ参照資料においても資料や判例、グラフや図版など、主体的な学習に活用できる様々な情報が提供しております。総合的な観点から、生徒に課題意識を持たせ、興味、関心を喚起でき、学習課題を深めることができる教科書であると判断しております。

**【教育長】**

そのほかいかがでしょうか。

それでは、議案第32号「令和6年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」採決いたします。

全科目の教科用図書について、調査研究報告書の3ページから5ページに記載している選定委員会が選定した令和6年度選定教科用図書の一覧のとおり採択するものとしてよろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【教育長】**

異議なしと認めます。

議案第32号「令和6年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」は、全科目の教科用図書について令和6年度選定教科書一覧のとおり採択し、可決いたしました。

本日本日予定しておりました議案等の審議は全て終了いたしました。

これで教育委員会会議臨時会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

午後4時55分閉会